

(様式第 10)

附 総 第 832 号  
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 公立大学法人横浜市立大学  
理事長 二見 良之 (印)

横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
氏 名	公立大学法人横浜市立大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

横浜市立大学附属病院
------------

3 所在の場所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9	電話(045)787-2800
-----------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	○有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 リウマチ・血液・感染症内科 2 腎臓・高血圧内科 3 内分泌・糖尿病内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	○有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 一般外科 2 消化器・肝移植外科 3 臨床腫瘍科・乳腺外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○1精神科	○2小児科	○3整形外科	○4脳神経外科	○5皮膚科	○6泌尿器科
○7産婦人科	8産科	9婦人科	○10眼科	○11耳鼻咽喉科	○12放射線科
13放射線診断科	14放射線治療科	○15麻酔科	○16救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	○有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科・口腔外科・矯正歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 呼吸器科	2 循環器科	3 消化器科	4 神経内科	5 心臓血管外科
6 リハビリテーション科	7 形成外科	8 病理診断科		

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
26床	0床	16床	0床	612床	654床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年9月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	471人	77人	485.5人	看護補助者	48人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	22人	1人	22.4人	理学療法士	12人	臨床検査技師	67人
薬 剤 師	42人	14人	54.4人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	0人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	714人	49人	749.7人	臨床工学士	15人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	3人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	2人	2人	4人	歯科技工士	1人	事務職員	99人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	44人	その他の職員	27人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	28人	眼科専門医	9人
外科専門医	29人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	10人
小児科専門医	12人	脳神経外科専門医	6人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	15人
泌尿器科専門医	7人	麻酔科専門医	20人
産婦人科専門医	6人	救急科専門医	10人
		合 計	180人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	558人	17人	575人
1日当たり平均外来患者数	1,854人	78人	1,932人
1日当たり平均調剤数			607 剤
必要医師数			163人
必要歯科医師数			3人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			353人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

## 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要		
集中治療室	181 m <sup>2</sup>	鉄骨造	病床数	8床	心電計	○有・無
			人工呼吸装置	○有・無	心細動除去装置	○有・無
			その他の救急蘇生装置	○有・無	ペースメーカー	有・○無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	11.55～13.43m <sup>2</sup> 台	病床数	11床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	32 m <sup>2</sup>			
化学検査室	1278 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 生化学多項目自動分析装置、 検体前処理・搬送システム			
細菌検査室	145 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 自動細菌検査装置、全自動血液培養装置			
病理検査室	312 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 自動免疫染色装置、電子顕微鏡			
病理解剖室	220 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 解剖室2室、更衣室、安置室(冷蔵室)			
研究室	14749m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 動物実験センター、RIセンター、臨床研究棟			
講義室	277 m <sup>2</sup>	鉄骨造	室数	2室	収容定員	180人
図書室	2398 m <sup>2</sup>	鉄骨造	室数	1室	蔵書数	15万8600冊程度

## 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
87.7 %	逆紹介率	58.8 %	
A：紹介患者の数		15,573人	
B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,095人	
C：救急用自動車によって搬入された患者の数		977人	
D：初診の患者の数		18,868人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法	1人
末梢血幹細胞による血管再生治療	5人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	1人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	1人
硬膜外自家血注入療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	219人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	93人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	106人	・原発性胆汁性肝硬変	52人
・全身性エリテマトーデス	366人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	93人
・再生不良性貧血	37人	・混合性結合組織病	61人
・サルコイドーシス	102人	・原発性免疫不全症候群	20人
・筋萎縮性側索硬化症	30人	・特発性間質性肺炎	8人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	330人	・網膜色素変性症	36人
・特発性血小板減少性紫斑病	48人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	48人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	82人	・神経線維腫症	25人
・大動脈炎症候群	44人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	19人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	38人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	21人
・脊髄小脳変性症	126人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	26人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	212人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25人
・後縦靭帯骨化症	52人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	21人	・ミトコンドリア病	10人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	38人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	53人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・植込型除細動器移行期加算
・高度難聴指導管理料	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料1
・がん患者指導管理料2	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・夜間休日救急搬送医学管理料	・外来リハビリテーション診療料
・外来放射線照射診療料	・ニコチン依存症管理料
・地域連携診療計画管理料	・がん治療連携計画策定料
・がん治療連携管理料	・認知症専門診断管理料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・歯科治療総合医療管理料
・持続血糖測定器加算	・造血器腫瘍遺伝子検査
・HPV核酸検出およびHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(I)
・検体検査管理加算(IV)	・遺伝カウンセリング加算
・植込型心電図検査	・胎児心エコー法
・時間内歩行試験	・ヘッドアップティルト試験
・皮下連続式グルコース測定	・長期継続頭蓋内脳波検査
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・ロービジョン検査判断料	・コンタクトレンズ検査料1
・内服・点滴誘発試験	・センチネルリンパ節生検
・CT透視下気管支鏡検査加算	・画像診断管理加算1
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・CT撮影及びMRI撮影
・冠動脈CT撮影加算	・大腸CT撮影加算
・心臓MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・無菌製剤処理料

・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・がん患者リハビリテーション料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・透析液水質確保加算2	・CAD/CAM冠
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術〔乳房(再建手術)の場合に限る〕
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・脳刺激装置植込術(頭蓋骨内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・緑内障手術〔緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)〕	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・網膜再建術	・人工内耳植込術, 植込型骨導補聴器移植術および植込型骨導補聴器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・経皮的冠動脈形成術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的冠動脈ステント留置術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・補助人工心臓	・経皮的大動脈遮断術
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	・ダメージコントロール手術
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・輸血管理料(Ⅰ)	・自己生体組織接着剤作成術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・内視鏡手術用支援機器加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋込手術
・麻酔管理料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)

・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算
・強度変調放射線治療(IMRT)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外照射呼吸性移動対策加算	・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・病理診断管理加算2
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・歯科矯正診断料
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・超音波骨折治療法
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断および治療	・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・腹腔鏡下子宮体がん根治術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	14回／月
剖 検 の 状 況	剖検症例数      43例      /      剖検      13.87%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大動脈瘤発生機序に関する遺伝子解析を中心とした統合的解析と治療適応の確立.	益田宗孝	外科治療学	150万円	補 委 文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2014-2016年度)
大動脈疾患における弾性線維形成異常の臨床的解析.	鈴木伸一	外科治療学	130万円	補 委 文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2013-2015年度)
胃癌のバイオマーカーによるリスク層別化キットと低分子抗癌剤の開発.	大島 貴	外科治療学	150万円	補 委 文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2014年-2016年度)
同一胃癌症例の原発組織、非癌部粘膜、血液、腹水を用いた胃癌の治療・再発についての研究.	利野 靖	外科治療学	2,000万円	補 委 次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム がん臨床シーズ育成領域 分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発. 2014年
KRAS変異・高増殖活性型肺腺癌の分子病理学的特性 (S100蛋白質の関与)	禹 哲漢	外科治療学	169万円	補 委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) (平成25年~27年度)
甲状腺未分化癌の抗癌剤効果予測とヒストン修飾に対する治療法確立を目指した発現解析.	菅沼伸康	外科治療学	110万円	補 委 文部科学省化科学研究費 基盤研究(C)(2014-2016年度)
ベーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科学	412万4千円	補 委 (厚労科研)
新学術領域 ベーチェット病などのHLA関連遺伝性眼疾患における疾患特異的な多型の網羅的検索(H22~26)	水木信久	眼科学	880万円	補 委 (厚労科研)
基盤研究 B 次世代シーケンサーを用いた遅発型発達緑内障多発家系によるエクソーム解析(H25~27)	水木信久	眼科学	510万円	補 委 (厚労科研)
基盤研究 B ゲノムワイド解析から同定した新規高血圧遺伝子: ATP2B1, LPIN1 (H25~H27)	水木信久	眼科学	50万円	補 委 (厚労科研)
基盤研究 C 人犬共通の緑内障感受性遺伝子SRBD1の詳細なゲノム解析: (H26~H28)	水木信久	眼科学	45万円	補 委 (厚労科研)
基盤研究 B 網膜格子状変性の発症に関わるCOL4A4遺伝子の詳細なゲノム解析	西出忠之	眼科学	70万円	補 委 (厚労科研)

若手研究 B Imputation法を利用したサルコイドーシスのゲノムワイド関連解析	目黒 明	眼科学	210万円	補 委	(厚労科研)
若手研究 A ブタクサ花粉アレルギーモデルを用いたHLA機能制御分子の探索	河越龍方	眼科学	310万円	補 委	(厚労科研)
若手研究 B サルコイドーシスの病態形成を規定する遺伝要因の解明	渋谷悦子	眼科学	140万円	補 委	(厚労科研)
革新的な地域医療マネジメントモデルの構築と評価に関する研究.	根本明宜	医療情報部	50万円	補 委	市立大学平成25年度戦略的研究推進費(2013-2015)
人体動作取得解析システムの開発およびエキスパート看護師の動作の一般応用可能性の検証.	根本明宜	医療情報部	10万円	補 委	平成24年度科学研究費補助金基盤研究(c)(2012-2013)
先天異常モニタリング解析による本邦の先天異常発生状況の推移とその影響・要因(放射線被ばくの影響, 出生前診断の影響等を含む)に関する研究.	平原史樹	産婦人科学	540万円	補 委	厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
先天異常モニタリングに関する研究.	平原史樹	産婦人科学	300万円	補 委	日本産婦人科医会 おぎや一献金基金
分担研究課題 妊婦の風疹罹患および先天性風疹症候群の発生抑制等, 胎児期の罹患予防に関する研究:ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立及び対策の向上に関する研究.	平原史樹	産婦人科学	120万円	補 委	厚生労働科学研究費(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)
(代, 学内共同研究):エコチル調査(環境省子どもの健康と環境に関する全国調査)	平原史樹	産婦人科学	1億5,900万円	補 委	環境省
生殖・先天異常ならびに周産期異常における葉酸・葉酸代謝の果たす役割に関する研究.	平原史樹	産婦人科学	90万円	補 委	文科省科学研究費 基盤研究(C)
出生前診断における遺伝カウンセリング及び支援体制に関する研究.	平原史樹	産婦人科学	500万円	補 委	厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
ANXA4サブタイプの機能解析に基づく卵巣明細胞腺癌の抗がん剤耐性克服戦略の研究.	宮城悦子	産婦人科学	100万円	補 委	文部科学省学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(平成25年度)
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究.	宮城悦子	産婦人科学	100万円	補 委	厚生労働科学研究委託費(革新的がん医療実用化研究事業)
HPVワクチンの有効性と安全性の評価のための大規模疫学研究.	宮城悦子	産婦人科学	研究代表者一括計上	補 委	厚生労働科学研究委託費(革新的がん医療実用化研究事業)研究代表者一括計上

子宮平滑筋腫が巨大に発育する分子生物学的機序に関する研究.	佐藤美紀子	産婦人科学	120万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (平成25年度)
先天性心疾患に合併するチアノーゼ腎症の発症機序の解明	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	科学研究費助成事業 基盤研究(C)
腎・泌尿器系の希少・難治性疾患群に関する診断基準・診療ガイドラインの確立	伊藤秀一	小児科学	100万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
重症の腸管出血性大腸菌感染症の病原性因子及び診療の標準化に関する研究	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事
小児難治性ネフローゼ症候群に対する新規治療法の開発を目指した全国多施設共同臨床試験	伊藤秀一	小児科学	300万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金(医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・治験推進研究事業))
成育希少疾患の症例登録と遺伝学的診断に関する研究	伊藤秀一	小児科学	100万円	補委	平成26年度国立成育医療研究開発費
成育医療及および臨床研究の均てん化・向上に結びつく政策提言のための研究	伊藤秀一	小児科学	30万円	補委	平成26年度国立成育医療研究開発費
難治性川崎病の診断と治療法の開発	伊藤秀一	小児科学	100万円	補委	平成26年度国立成育医療研究開発費
周産期医療における新生児医療に携わる医師の養成に係る研修プログラムに関する研究.	西巻 滋	小児科学	410万円	補委	神奈川県医師確保・地域医療力向上事業補助
未熟児特有のアミノ酸代謝に基づいた動脈管開存症を軽減するアミノ酸輸液組成の検討	藤田秀次郎	小児科学	50万円	補委	科学研究費助成事業 基盤研究(C)
疾患iPS細胞を用いた新規プロテアソーム不全症(中條-西村症候群)の病態解析.	柳町昌克	小児科学	500万円	補委	科学研究費助成事業 若手(B)
骨密度と筋力を考慮した有限要素法解析による変形性股関節症の進行予測と術後評価.	稲葉 裕	整形外科	156万円	補委	平成26年度科学研究費補助金(基盤研究(C))



インプラント感染における新しい術中迅速メチシリン耐性ブドウ球菌感染診断法の開発.	稲葉 裕	整形外科学	10万円	補委	平成26年度科学研究費補助金(基盤研究(C))
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究(26070201).	稲葉 裕	整形外科学	40万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
特発性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国学際研究.	稲葉 裕	整形外科学	10万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究委託事業(難治性疾患実用化研究事業)
特発性大腿骨頭壊死症のバイオメカニクスの検討.	稲葉 裕	整形外科学	21万3千円	補委	特発性大腿骨頭壊死症のバイオメカニクスの検討.
アンジオテンシン1-7による前立腺癌細胞のアンドロゲンレセプター発現調整の解明.	上村博司	泌尿器科学	156万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
抗アンドロゲン療法による膀胱癌の再発抑制.	泉 浩司	泌尿器科学	195万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
腹腔鏡手術操作における加える力と触覚の測定と定量化の研究.	林 成彦	泌尿器科学	273万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
膀胱上皮内癌の診断のための可視光応答型光触媒ナノ粒子の開発研究、挑戦的萌芽研究	窪田吉信	泌尿器科学	156万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
FDG PET/CTを活用した腎細胞癌の血液マーカー・新規治療法開発のための研究	中井川 昇	泌尿器科学	195万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
腎癌の治療反応性に特異的な分子シグナル経路の同定とその臨床応用研究.	矢尾正祐	泌尿器科学	130万円	補委	文部科学省科学研究費補助金
バート・ホッグ・デュベ症候群の分子病態解明と新規の診断マーカー及び治療標的分子の探索研究.	矢尾正祐	泌尿器科学	808万5千円	補委	文部科学省, 科学技術振興機構
PGCの多能性維持における精巢体細胞と相互作用	横西哲弘	泌尿器科学	350万円	補委	上原記念生命科学財団 海外留学助成リサーチフェローシップ
免疫抑制剤による前立腺癌新規治療法の開発.	河原崇司	泌尿器科学	200万円	補委	上原記念生命科学財団 研究奨励金
シロドシンを用いた膀胱癌の発生・進展の分子メカニズム解明と治療への応用.	河原崇司	泌尿器科学	150万円	補委	東京生化学研究会、研究奨励賞

3Dプリンターを用いた難治性尿路結石症に対する軟性尿管鏡補助下逆行性腎瘻造設術の治療効果の向上の検討.	河原崇司	泌尿器科学	50万円	補 委	内視鏡医学研究 振興財団 研究助成
前立腺癌に対する2次ホルモン療法としてのGnRHアゴニストからデガレリクスへの切替療法の有効性についての検討.	上村博司	泌尿器科学	700万円	補 委	アステラス製薬株式会社
分子異常に基づいた肺腺がんの分類と浸潤・転移機構の解明	大橋健一	病理診断科	140万円	補 委	基盤研究(C) (2012-2014年)
肺腺癌の悪性化に関わるケモカインネットワークの解明	梅田茂明	病理診断科	150万円	補 委	基盤研究 (B)(2013-2015年)
microRNAから見た早期大腸癌におけるリンパ節転移に関わる分子基盤の研究	立石陽子	病理診断科	140万円	補 委	基盤研究 (B)(2014-2016年)
前立腺癌永久挿入密封線源療法における最適なシード線源数の予測式作成.	村上朋史	放射線部	20万円	補 委	横浜総合医学復興財団, 2013.10 ~2014.10
カプセル内視鏡を用いたボランティアに対するルビプロストン(アミティーザ®)とプラセボを用いた二重盲検比較試験(胃排出時間・小腸排出時間の検討), 共同研究	稲森正彦	臨床研修センター	584万3千円	補 委	アボットジャパン株式会社
13C呼気試験法を用いたボランティアに対するルビプロストン(アミティーザ®)投与時の胃排出時間の検討, 共同研究	稲森正彦	臨床研修センター	390万5千円	補 委	アボットジャパン株式会社
救命救急センターにおける自殺未遂者再発防止事業.	平安良雄	精神医学	500万円	補 委	横浜市受託研究費、平成26年
統合失調症の診断, 治療法の開発に関する研究: 高齢統合失調症患者の病態とリハビリに基づく心理教育に関する研究(主任研究者: 中込)	平安良雄	精神医学	150万円	補 委	厚生労働省精神・ 神経疾患研究委 託費, 平成26年
認知・脳機能を基盤とした大学生のインターネット依存と留年・休学予防プログラム作成(主任研究者: 池田英二)	平安良雄	精神医学	5万円	補 委	学術研究助成基金助成金, 平成26年
前頭側頭葉変性症の臨床病理学的研究	勝瀬大海	精神医学	150万円	補 委	日本学術振興会
統合失調症における機能的電気刺激による運動療法の開発(主任研究者: 藤林真美)	岸田郁子	精神医学	5万円	補 委	日本学術振興会
パニック障害における脳構造、生理機能、臨床症状との関連および性差.	浅見剛	精神医学	170万円	補 委	日本学術振興会

ベーチェット病の臨床特徴の検討ー神経ベーチェット病の早期発見を目指して.	鎌田鮎子	精神医学	60万円	補委	日本学術振興会
軟治性精神疾患と抗NMDA受容体抗体の関連について.	千葉悠平	精神医学	120万円	補委	日本学術振興会
認知・脳機能を基盤とした大学生のインターネット依存と留年・休学予防プログラム作成(主任研究者:池田英二).	塩崎一昌	精神医学	5万円	補委	日本学術振興会
広汎性発達障害における高次連合野の刺激応答特性と神経可塑性.	中村元昭	精神医学	120万円	補委	日本学術振興会
ライソゾーム蓄積病における $\alpha$ シヌクレインの機能と病態への関与(主任研究者:山口 章).	鈴木京子	精神医学	30万円	補委	日本学術振興会
膵癌間質のプロテオーム解析.	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	180万円	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究.	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	15万円	補委	厚生労働科学研究費(C)
課題番号26-10高齢者術後せん妄予防・治療のための標準化プログラム作成および術前CGA/虚弱評価による高齢者手術の安全性評価に関する研究.	秋山浩利	消化器・腫瘍外科学	50万円	補委	厚生労働省
大腸癌肝転移巣における癌幹細胞.	田中邦哉	消化器・腫瘍外科学	90万円	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発.	千島隆司	消化器・腫瘍外科学	35万円	補委	文部科学省科学研究費基礎研究(C)
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発.	山田美千代	消化器・腫瘍外科学	35万円	補委	文部科学省科学研究費基礎研究(C)
膵癌間質のプロテオーム解析.	森隆太郎	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
高リスク女性に対する個別化検診をめざした乳癌罹患定量的アルゴリズムの開発.	菅江貞亨	消化器・腫瘍外科学	30万円	補委	文部科学省科学研究費基礎研究(C)
膵癌におけるSMAD4の発現と微小環境構築による癌進展メカニズムの解明.	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	100万円	補委	文部科学省科学研究費若手研究(B)

膵癌間質のプロテオーム解析.	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
大腸癌肝転移巣における癌幹細胞.	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
尿細管性機序に基づく食塩感受性・高血圧症の分子病態の解明と展開。	石上友章	循環器・腎臓内科学	150万円	補委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)), (2014-2016)
非ST上昇型急性心筋梗塞(NSTEMI)における持続血糖測定器(OGM)を用いた血糖変動(GV)の心機能に及ぼす影響:心臓超音波検査による心筋ストレッチ法との比較検討.	岩橋徳明	循環器・腎臓内科学	240万円	補委	アストラゼネカ研究サポート, (2014,11~2019.3)
ゲノムワイド解析から同定した新規高血圧遺伝子:ATP2B1, LPTNIの機能解析.	梅村敏	循環器・腎臓内科学	310万円	補委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(B)), (2013-2015)
腎障害の進展における受容体結合型腎保護分子の病態生理学的意義の検討.	大澤正人	循環器・腎臓内科学	143万円	補委	科学研究費補助金(研究活動スタート支援), (2014-2015)
受容体直接結合性分子に着目した高血圧関連生活習慣病の病態解明と新規治療法の探索.	田村功一	循環器・腎臓内科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)), (2012-2014)
受容体結合型の食塩感受性高血圧抑制因子に着目した慢性腎臓病の病態解明および病態制御の試み.	田村功一	循環器・腎臓内科学	90万円	補委	公益財団法人ソルトサイエンス研究財団
腎臓欠損マウスを用いた異種間腎臓再生.	橋本達夫	循環器・腎臓内科学	80万円	補委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)) (2012-2014)
冠細小動脈の最大充血なしに冠動脈狭窄の虚血を予測できるか?	日比潔	循環器・腎臓内科学	416万円	補委	科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)), (2014-2016)
血圧感受性遺伝子ATP2B1の血圧および臓器障害に与える影響に関する研究.	平和伸仁	循環器・腎臓内科学	286万円	補委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)) (2013-2015)
ATP2B1遺伝子のカルシウム動態への影響とその臨床応用.	藤原亮	循環器・腎臓内科学	70万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団「わかば研究助成」
酸化ストレス感受性の発現を呈す増悪因子APJ受容体に着目した動脈硬化症の病態解析.	吉田伸一郎	循環器・腎臓内科学	70万円	補委	日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援) (2013-2014)

カルシウム輸送蛋白PMCA1による腎保護効果の検討.	涌井広道	循環器・腎臓内科学	100万円	補委	横浜総合医学振興財団推進研究, 平成26~28年度
アンジオテンシン受容体結合分子に着目した認知症の治療戦略.	涌井広道	循環器・腎臓内科学	100万円	補委	公益財団法人万有生命科学振興国際交流財団 Banyu Foundation Research Grant 2014-生活習慣病領域-, 平成26~27年度
受容体結合型脳血管障害抑制因子に着目した認知症の病態解明および病態制御の試み.	涌井広道	循環器・腎臓内科学	100万円	補委	公益財団法人先進医薬研究振興財団 循環医学分野若手研究助成
我が国における Idiopathic Slow Transit Constipation の疫学・診断・治療の実態調査.	中島淳	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)研究事業
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究.	中島淳	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	厚生労働省
C型肝炎の新規診断法や新規治療法を開発するためのゲノムワイド関連解析の手法を用いた宿主因子の解析に関する研究.	中島淳	肝胆膵消化器病学	70万円	補委	厚生労働省
C型慢性肝炎ウイルスによる脂質代謝異常に対するmiRNAsの関与の解明.	斉藤聡	肝胆膵消化器病学	140万円	補委	日本学術振興会
大腸de novo癌に関わる遺伝子異常および発癌分子機序の解明.	酒井英嗣	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎におけるPARVB遺伝子の機能解析.	馬渡弘典	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	日本学術振興会
経内頸静脈的脂肪酸持続投与が大腸発癌に与える影響および分子メカニズムの解明.	遠藤宏樹	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	日本学術振興会
大腸発癌におけるTNF-R1の検討.	細野邦広	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	日本学術振興会
過敏性腸症候群における小腸運動異常の研究.	藤田祐司	肝胆膵消化器病学	140万円	補委	日本学術振興会
3剤併用療法を受けるC型肝炎患者の意思決定プロセスの実態と意思決定要因	斉藤聡	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	日本学術振興会



慢性炎症の病態形成におけるレプチンの役割解明.	中島淳	肝胆膵消化器病学	270万円	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎におけるlipotoxicityによる病態の解明.	中島淳	肝胆膵消化器病学	410万円	補委	日本学術振興会
慢性偽性腸閉塞症の新規治療法の開発.	中島淳	肝胆膵消化器病学	140万円	補委	日本学術振興会
同一胃癌症例の原発組織、非癌部粘膜、血液、腹水を用いた胃癌の治療・再発についての研究.	中島淳	肝胆膵消化器病学	2,000万円	補委	日本学術振興会
miRNA-33を標的とした新規抗HCV作用の検討.	留野渉	肝胆膵消化器病学	120万円	補委	日本学術振興会
慢性偽性腸閉塞症に対する新たな診断モダリティの確立および病態解明.	大久保秀則	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	日本学術振興会
内視鏡・胃壁固定具補助下経皮的胃全層生検の有用性に関する研究.	野中敬	肝胆膵消化器病学	90万円	補委	日本学術振興会
呼気法、超音波法を用いた機能性胃腸症の病態解明の検討.	関野雄典	肝胆膵消化器病学	160万円	補委	日本学術振興会
小腸疾患のpHに関する検討(pHカプセルを用いて).	飯田洋	肝胆膵消化器病学	120万円	補委	日本学術振興会
NASH病態におけるエンドトキシン-脂質代謝障害の検討.	今城健人	肝胆膵消化器病学	160万円	補委	日本学術振興会
飽和脂肪酸の肝内でのlipotoxicityとNASH病態への関与.	小川祐二	肝胆膵消化器病学	160万円	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎の患者病態を反映した新規動物モデルの開発.	今城健人	肝胆膵消化器病学	200万円	補委	公益財団法人 武田科学振興財団
非アルコール性脂肪肝炎の病態進展機序において、腸内細菌由来エンドトキシンがもたらす脂質代謝障害の役割を解明する	今城健人	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	公益財団法人かなえ医薬振興財団
非アルコール性脂肪肝炎 (non alcoholic steatohepatitis: NASH) の病態進展における肥満と腸内細菌由来エンドトキシンの役割を解明する.	今城健人	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	一般財団法人横浜医学振興財団 推進研究助成

新規内因性軸索伸張促進因子 Lotusの脳虚血後神経再生に及ぼす効果.	川原信隆	脳神経外科学	310万円	補委	学術振興会科学研究費補助金-基盤B (H24-26年度)
「多能性間葉系幹細胞へのBC-boxモチーフペプチド導入による神経分化機構の解明」.	菅野 洋	脳神経外科学	110万円	補委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
頭部外傷に伴う脳浮腫の病態解明と新たな治療手段の検討.	東田哲博	脳神経外科学	390万円	補委	日本学術振興会科学研究費
損傷を受けた神経細胞に対する麻酔・鎮静薬の毒性に関する検討.	安藤富男	麻酔科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
全身麻酔後の記憶学習能変化とAMPA型グルタミン酸受容体の関与に関する研究.	伊奈川岳	麻酔科学	150万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2012年度～2014年度)
肺胞上皮増殖因子遺伝子導入による肺保護戦略-臨床応用へのアプローチ.	馬場靖子	麻酔科学	160万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
敗血症性多臓器不全に向けた基盤研究:HIF-1による組織代謝制御の解明.	山口修	麻酔科学	170万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2014年度～2016年度)
成体ラット開腹手術モデルを用いた急性侵害性疼痛による記憶学習能への影響の検討.	小川賢一	麻酔科学	170万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
内因性NOS阻害物質代謝酵素の導入による肺血圧低下効果.	新堀博展	麻酔科学	120万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
麻酔科医のメンタルヘルスの包括的改善策の検討.	水谷健司	麻酔科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
VPAC2アゴニスト発現ベクター構築と肺高血圧治療.	水野祐介	麻酔科学	140万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2014年度～2016年度)
幼弱脳に対する麻酔薬の興奮作用と神経毒性との関係の解明.	石和大	麻酔科学	150万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
VIP受容体VPAC2選択的アゴニストを用いた肺高血圧症治療.	川上裕理	麻酔科学	90万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2013年度～2015年度)
虚血再灌流障害に対するプレコンディショニングの機序解明と薬物治療に向けた基盤研究.	倉橋清泰	麻酔科学	110万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C) (2014年度～2016年度)

術中鎮痛法が術後の生活の質に及ぼす影響に関する研究.	朝倉彩子	麻酔科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
レンチウイルスベクターを用いた肺高血圧症治療.	渡邊至	麻酔科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(2012年度～2014年度)
多面的記憶テストバッテリーを用いた麻酔薬の記憶忘却作用の検討.	後藤隆久	麻酔科学	170万円	補委	学術研究助成基金助成金萌芽的研究(2014年度～2016年度)
超短時間麻酔薬曝露モデルにおける幼若ラットのニッチ記憶障害の検討.	藤本寛子	麻酔科学	90万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2014年度～2016年度)
超短時間麻酔薬曝露モデルによる成体の認知記憶障害の検討.	内本一宏	麻酔科学	140万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2014年度～2016年度)
低酸素応答システムによる代謝制御を用いた多臓器不全に対する臓器保護戦略.	柳大介	麻酔科学	90万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
幼弱脳へ対するブメタニドと麻酔薬の作用に関する検討.	刈谷隆之	麻酔科学	110万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
網羅的行動テストバッテリーを用いた麻酔薬の新規効能探索.	後藤隆久	麻酔科学	270万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
低酸素誘導性因子HIF活性化による肺胞上皮細胞保護効果の検討	高木俊介	麻酔科学	130万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
長期休暇後の医師復帰支援のためのシミュレーショントレーニングプログラムの開発.	佐藤仁	麻酔科学	100万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
メトニン受容体アゴニストによる周術期せん妄予防に関する検討.	山口嘉一	麻酔科学	70万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究(B)(2013年度～2015年度)
TRUE gene silencing法による頭頸部癌増殖抑制の試み	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	総額520万円(70万円,平成26年度分)	補委	文部科学省 科学研究費 基盤研究(C)
内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型による治療	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	(870万円,平成26年度分)	補委	厚生労働科研委託事業 治験推進研究事業
GSK1358820の痙攣性発声障害患者を対象とした第Ⅱ/Ⅲ相試験	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	(120万円,平成26年度分)	補委	日本医師会治験促進センター補助金 医師主導治験
AP-1 遺伝子群による頭頸部頸部リンパ節転移の進展機序の解明	佐野大佑	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	290万円	補委	学術研究助成基金助成金 若手研究(B)



聾モデルラットにおける聴覚連合野での形態学的変化の検討	荒井康裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	221万円	補委	科研費若手研究(B)
頭頸部癌の遠隔転移機構におけるインターフェロン調節因子の役割の解明.	高橋秀聡	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	377万円	補委	科学研究費若手研究(B)
「ベーチェット病におけるM2マクロファージ機能不全とその修復による治療戦略」.	岳野光洋	臨床検査部	150万円	補委	基盤研究(C) (2014-2016)日本学術振興会
「全身性エリテマトーデスにおける炎症制御機構の破綻メカニズム」.	岳野光洋	臨床検査部	15万円	補委	基盤研究(C) (2014-2016)日本学術振興会
「ユビキチン化修飾系を治療標的とする膠原病の新規治療法の可能性について」	岳野光洋	臨床検査部	15万円	補委	基盤研究(C) (2014-2016)日本学術振興会
慢性そう痒性皮膚疾患の病態解明と新規治療薬の開発.	相原道子	皮膚科学	160万円	補委	平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)
重症薬疹のゲノムマーカー探索と病態学的関連性検証に基づく発症予測診断系の開発.	相原道子	皮膚科学	40万円	補委	平成26年度科学研究費補助金 基盤研究(B)
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究.	相原道子	皮膚科学	150万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
市販後における重篤副作用(間質性肺炎、横紋筋融解症、重症薬疹等)の発症要因解明と安全対策に関する研究.	相原道子	皮膚科学	50万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金(地球規模保健課題解決推進のための研究事業)
アレルギー疾患対策の均てん化に関する研究.	相原道子	皮膚科学	50万円	補委	平成26年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業 免疫アレルギー疾患政策研究分野))
生命予後に関わる重篤な食物アレルギーの実態調査・新規治療法の開発および治療指針の策定.	相原道子	皮膚科学	55万円	補委	平成26年度厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業 免疫アレルギー疾患実用化研究分野))

重症モモアレルギーのアレルゲン解析と検査法の確立.	猪又直子	皮膚科学	140万円	補委	平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)
乾癬の病態におけるCaveolinの役割.	山口由衣	皮膚科学	100万円	補委	平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究(B)
ベーチェット病に関する研究.	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	40万円	補委	平成26年度 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
国内で流行する HIV とその薬剤耐株の動向把握に関する研究.	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	150万円	補委	平成26年度 エイズ対策研究事業(エイズ対策実用化研究事業)
挑戦的萌芽, これからの HIV/AIDS診療体制の在り方に関する研究.	石ヶ坪良明	免疫・血液・呼吸器内科学	11万8千円	補委	平成26年度 学術研究助成基金助成金
関節リウマチにおける骨破壊と手機能・QOLについての検討.	井畑淳	免疫・血液・呼吸器内科学	50万円	補委	共済医学会共同研究事業
ループス腎炎におけるM2マクロファージの発現と腎予後との関連解析.	桐野洋平	免疫・血液・呼吸器内科学	100万円	補委	日本リウマチ財団リウマチ性疾患調査・研究助成
ベーチェット病新規感受性遺伝子ERAP1の機能解析を通じた脊椎関節炎治療法の開発.	桐野洋平	免疫・血液・呼吸器内科学	1,860万円	補委	文部科学省 科学研究費補助金 若手
poly-G ODNを用いた新規抗腫瘍免疫療法の開発.	小林信明	免疫・血液・呼吸器内科学	120万円	補委	厚生労働科学研究費補助金若手研究(B) (H26~H28)
ベーチェット病におけるM2マクロファージ機能不全とその修復による治療戦略.	岳野光洋	免疫・血液・呼吸器内科学	150万円	補委	基盤研究(C) (2014-2016)
同種造血細胞移植における鉄および炎症性関連マーカーの病態解明と治療法の開発.	立花崇孝	免疫・血液・呼吸器内科学	25万円(平成26年度のみ)	補委	研究助成 横浜学術教育振興財団
ヘムオキシゲナーゼ1とM2マクロファージから見たループス腎炎の病態解析.	浜真麻	免疫・血液・呼吸器内科学	130万円	補委	文部科学省 平成25年度科学研究費助成事業 若手研究(B)
ユビキチン化修飾系を治療標的とする膠原病の新規治療法の探索.	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	100万円	補委	横浜総合医学振興財団, 推進研究助成
ユビキチン化修飾系を治療標的とする膠原病の新規治療法の可能性について.	吉見竜介	免疫・血液・呼吸器内科学	480万円	補委	文部科学省, 科学研究費補助金基盤研究(C)

口腔癌の頸部リンパ節転移に対する新規磁性抗癌剤を用いた選択的ハイパーサーミア.	飯田昌樹	口腔外科学	156万円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B). (2013年-2014年度)
先端医科学研究センターにおける医療応用を目指した開発型研究. 内視鏡を用いた低侵襲な歯科・口腔外科治療の普及を目指したファイバースコープシステムとバーチャルシミュレーターの開発.	岩井俊憲	口腔外科学	71万円	補委	横浜市立大学戦略的研究推進費. 2014年度
: 口腔癌再発を導く骨髄CD11b+単球細胞の分化機構とその役割.	來生 知	口腔外科学	793万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B). 2014年度
口腔癌幹細胞の難治性に関わるエピゲノム解析.	來生 知	口腔外科学	221万円	補委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 2014年度
翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成. 癌の前転移ニッチ (premetastatic niche) を標的とする創薬の探索.	來生 知	口腔外科学	80万円	補委	イノベーションシステム整備事業先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム. 2014年度
口腔癌放射線及び化学療法後の再発・再増殖メカニズムの解明と新規抗血管療法の開発.	大久保牧子	口腔外科学	110万円	補委	口腔癌放射線及び化学療法後の再発・再増殖メカニズムの解明と新規抗血管療法の開発.
温熱療法とIL-1阻害薬の併用療法の開発.	小栗千里	口腔外科学	156万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). (2014年度-2016年度)
造影剤リゾビストを用いた温熱療法とセツキシマブ併用による口腔癌治療の開発.	小泉敏之	口腔外科学	100万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), (2014年度-2016年度)
口腔癌におけるMDSCをターゲットにした分子標的薬の研究.	佐藤有紀	口腔外科学	247万円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B). (2014年度-2015年度)
HIV感染者を対象とした口腔癌の早期発見と予防に関する研究.	筑丸 寛	口腔外科学	90万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), (2012年度-2014年度)
患者固有データを用いた流体シミュレーションによるオーダーメイド動注化学療法の開発.	藤内 祝	口腔外科学	430万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B). (2012年-2014年度)
ICGと近赤外線内視鏡を用いた小切開による低侵襲なセンチネルリンパ節生検の確立.	藤内 祝	口腔外科学	150万円	補委	文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 2014年度
磁性抗がん剤を用いた医療機器の開発.	藤内 祝	口腔外科学	100万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金医療機器開発推進研究事業. 2014年度

口腔がんに対する磁性抗がん治療薬の実用化.	藤内 祝	口腔外科学	400万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業. 2014年度
口腔扁平上皮癌および間葉系間質細胞による免疫抑制機構とスタチン系薬剤の修飾作用.	藤内 祝	口腔外科学	7万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), (2012年度-2014年度)
臨床応用に向けた温熱療法と分子標的薬の併用療法の開発.	中島英行	口腔外科学	247万円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B). (2014年度-2015年度)
骨形成促進チタンファイバー綿製ブロックによる顎骨再建シミュレーション.	廣田 誠	口腔外科学	60万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2013年度-2015年度
口腔顎顔面領域におけるICGを用いた蛍光ナビゲーション手術の確立.	不破信和	口腔外科学	90万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 2014年度
新規磁性抗癌剤を用いた口腔癌の遠隔転移に対する温熱免疫化学療法の開発.	光藤健司	口腔外科学	100万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), (2013年度-2015年度)
肝癌幹細胞維持および悪性化に関わるシグナル分子の解析.	前田慎	消化器内科学	440万円	補委	平成26年度 科学研究費補助金 基盤研究(B), (H25~27年度)
非コード反復列RNAの発現を主因とした多段階発癌の発癌機構の解明と制御.	前田慎	消化器内科学	10万円	補委	平成26年度 科学研究費補助金 基盤研究(B), (H25~27年度)
肝発癌における腫瘍細胞および間質細胞の起源の同定と分子標的への応用.	前田慎	消化器内科学	300万円	補委	公益財団法人上原記念生命科学財団
炎症性腸疾患における線維化機序解明と分子標的治療への応用.	芝田渉	消化器内科学	150万円	補委	平成26年度 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), (H26~28年度)
肝癌幹細胞維持および悪性化に関わるシグナル分子の解析.	芝田渉	消化器内科学	10万円	補委	平成26年度 科学研究費補助金 基盤研究(B), (H25~27年度)
カプセル内視鏡を用いたボランティアに対するルビプロストン(アマティーザ®)とプラセボを用いた二重盲検比較試験(胃排出時間・小腸排出時間の検討).	稲森正彦	消化器内科学	609万1,200円	補委	平成26年度 横浜市立大学共同研究, (H25~26年度)
13C呼気試験法を用いたボランティアに対するルビプロストン(アマティーザ®)投与時の胃排出時間の検討.	稲森正彦	消化器内科学	414万7千200円	補委	平成26年度 横浜市立大学共同研究, (H25~26年度)
正確な死亡時記録に基づく糖尿病患者の死因・平均余命およびそれらの規定因子の検討.	後藤 温	内分泌・糖尿病内科学	75万円	補委	糖尿病協会 若手研究者助成

グルコースシグナルを介した膵β細胞の小胞体ストレス制御メカニズムの解明.	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	45万円	補委	Front Runner of Future Diabetes Research 研究助成
糖代謝を介した膵β細胞小胞体ストレス誘導性アポトーシスの制御機構解明.	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	万有生命科学振興国際交流財団研究助成 生活習慣病領域
グルコキナーゼ活性化薬による膵β細胞小胞体ストレス誘導性アポトーシス制御機構の解明.	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	かなえ医薬振興財団 研究助成
科学研究費 糖代謝シグナルを介した小胞体ストレス制御による膵β細胞保護機構.	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	247万円	補委	若手研究B, 平成25年度
メホルミンによる膵β細胞機能および量の制御機構の解明.	田島一樹	内分泌・糖尿病内科学	60万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 平成26年度わかば研究助成
科学研究費 膵β細胞量に着目した糖尿病テーラーメイド医療の基盤整備.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	429万円	補委	基盤研究B, 平成26年度
科学研究費 膵β細胞におけるインクレチンおよびPACAP受容体の発現制御機構の解明.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	78万円	補委	挑戦的萌芽研究, 平成26年度
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	60万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金
日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS).	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究.	田中章景	神経内科・脳卒中科	100万円	補委	平成25年度厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)
UBQLNコンディショナルノックアウトマウスの解析に基づく神経変性機序の解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	18万8千円	補委	新潟大学脳研究所共同研究費補助金(平成26～平成27年度)
パーソナルゲノム解析に基づくALSの疾患関連遺伝子検索と病態解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	360万円	補委	文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(平成22～平成26年度)
共通分子UBQLN2を通じたポリグルタミン病・ALS/FTLDの統合的病態解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	280万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(平成25～27年度)
ポリグルタミン病におけるRNA結合タンパクの解析.	田中章景	神経内科・脳卒中科	120万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)



多発性硬化症における新規バイオマーカーLOTUSの開発と病態の解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	35万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)
ポリグルタミン病におけるカルシウムシグナリングの解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	60万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(平成26～28年度)
卓上型次世代シーケンサーを用いた白質脳症の遺伝子診断法の開発と遺伝子診断法の開発と遺伝的背景の解明.	田中章景	神経内科・脳卒中科	15万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(平成25～平成27年度)
多発性硬化症における新規バイオマーカーLOTUSの開発と病態の解明.	鈴木ゆめ	神経内科・脳卒中科	100万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)
潜在的ビタミンB1欠乏患者における患者因子についての検討.	鈴木ゆめ	神経内科・脳卒中科	10万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究挑戦的萌芽研究(C)(平成25～27年度)
ポリグルタミン病におけるカルシウムシグナリングの解明.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中科	80万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(平成26～28年度)
共通分子UBQLN2を通じたポリグルタミン病・ALS/FTLDの統合的病態解明.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中科	50万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(平成25～27年度)
ポリグルタミン病におけるRNA結合タンパクの解析.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中科	30万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)
潜在的ビタミンB1欠乏患者における患者因子についての検討.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中科	30万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究挑戦的萌芽研究(C)(平成25～27年度)
ポリグルタミン凝集体プロテオーム解析から予測される新規ALS関連分子の探索.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	100万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 推進研究助成
パーソナルゲノム解析に基づくALSの疾患関連遺伝子検索と病態解明.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	130万円	補委	文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(平成22～平成26年度)
共通分子UBQLN2を通じたポリグルタミン病・ALS/FTLDの統合的病態解明.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	120万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(平成25～27年度)
ポリグルタミン病におけるRNA結合タンパクの解析.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	30万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)

卓上型次世代シーケンサーを用いた白質脳症の遺伝子診断法の開発と遺伝子診断法の開発と遺伝的背景の解明.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	15万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(平成25～平成27年度)
翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成.	土井 宏	神経内科・脳卒中科	80万円 (平成26年度)	補委	イノベーションシステム整備事業(平成20～29年度)
ポリグルタミン病凝集体形成におけるBAG6複合体の役割についての検討.	多田美紀子	神経内科・脳卒中科	70万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 推進研究助成
ポリグルタミン病におけるRNA結合タンパクの解析.	多田美紀子	神経内科・脳卒中科	20万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究(平成26～平成27年度)
ポリグルタミン病におけるカルシウムシグナリングの解明.	多田美紀子	神経内科・脳卒中科	50万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(平成26～28年度)
共通分子UBQLN2を通じたポリグルタミン病・ALS/FTLDの統合的病態解明.	田中健一	神経内科・脳卒中科	25万5千216円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(平成25～27年度)
ニューロメーターを用いたパーキンソン病関連疾患における知覚閾値.	島村めぐみ	神経内科・脳卒中科	30万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(平成22～26年度)
潜在的ビタミンB1欠乏患者における患者因子についての検討.	平田順一	神経内科・脳卒中科	60万円	補委	文部科学省学術研究助成基金助成金基盤研究挑戦的萌芽研究(C)(平成25～27年度)
口唇口蓋裂に対する自己多血小板血漿/フィブリンを用いた顎裂部骨形成法の開発	小林眞司	形成外科学		補委	平成26-28年度科学研究費補助金事業 基盤研究◎
唇顎口蓋裂に対する自己多血小板血漿の臨床応用(継続).	小林眞司	形成外科学		補委	平成26年度かながわ県立病院小児医療研究基金.
リンパ浮腫患者に対するリンパ管再生促進因子付加型血管柄付きリンパ節移植の研究.	佐武利彦	形成外科学	280万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)
「超音波画像装置の試作開発」	前川二郎	形成外科学	4,000万円	補委	平成26年度 経産省医工連携事業化推進事業 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区
定量化した毛細血管再充満時間によるショックの予測.	森村尚登	救急医学	500万円	補委	平成24年度文部科学研究費補助金基盤研究(C)
軽症患者の救急車利用の抑制等、二次、三次救急医療体制確保のための研究	森村尚登	救急医学	400万円	補委	神奈川県医師確保・地域医療力向上事業補助金

地域医療構想策定及び医療計画PDCAサイクルの推進に資する都道府県の人材育成等手法に関する研究.	森村尚登	救急医学	137万円	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金
重症循環器疾患等に関する医療内容の評価に資するデータレジストリシステムの構築.	森村尚登	救急医学	代表者一括計上	補委	平成26年度日本医療研究開発機構研究費
循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究.	森村尚登	救急医学	主任研究代表者一括計上	補委	平成26年度厚生労働科学研究費補助金, 厚生労働省.
レジリエンス・エンジニアリング理論の医療の質・安全における実用化に関する研究	中村京太	救急医学	20万円	補委	科学研究費補助金・基盤研究B(平成26-29年度)
小児気管切開/慢性人工呼吸確立と円滑な在宅移行を目的とした診療・教育プログラムの開発に関する研究	問田千晶	救急医学	240万円	補委	三菱財団社会福祉事業・研究助成金(平成25年10月1日~平成27年9月30日)
院内製造PET薬剤の合成装置を用いた核医学診断技術の臨床応用に関するレギュラトリーサイエンスの研究.	井上登美夫	放射線科	500万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金(H25-医薬-指定-014)
3TMRSによる小児脳内代謝物・神経伝達物質の脳・小脳での定量.	相田典子	放射線科	195万円(3年総額494万円)	補委	2014年度科学研究費時制事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2014年度)
脳クレアチン欠乏症候群の臨床研究.	相田典子	放射線科	150万円	補委	厚生労働省難治性疾患克服研究事業(2014年度)
1H-MRS法を用いた脳内代謝物の測定に関する研究.	相田典子	放射線科	32万円	補委	かながわ県立病院小児医療基金(2014年度)
がんの早期診断に資する新規のPET薬剤標識技術開発と普及に向けた自動合成装置の開発に関する研究.	栗原宏明	放射線科	2,990万円	補委	厚生労働科学研究費委託費(2014年度)
F-BPA PET検査によるBPA体内分布評価およびその集積変化の研究.	栗原宏明	放射線科	143万円	補委	科学研究費助成事業 基盤研究(C)(2014年度)
分子標的治療薬の創薬研究を加速する分子イメージング技術の開発.	栗原宏明	放射線科	1,188万円	補委	次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム(2014年度)
研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム). 普及型・高精細PET/MRI一体型装置の開発	井上登美夫	放射線科	79万円	補委	独立行政法人科学技術振興機構委託研究
翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成.	井上登美夫	放射線科	649万3千円	補委	地域産学官連携科学技術振興事業費補助金, 平成26年度 補助金(文科省)



ペプチド製剤による中和型血管新生阻害剤の薬効評価	立石宇貴秀	放射線科	120万円	補 委	科学研究費助成事業, 基盤研究(C)
「難治性がん治療に向けた機能画像法の開発」(悪性腫瘍の治療感受性予測における <sup>62</sup> Cu-ATMS PET/CTの有用性の研究)	立石宇貴秀	放射線科	430万7,520円	補 委	文部科学省 研究振興局, 受託研究

計258件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Masuda M	外科治療学	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2012 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 62(12):734-764, 2014.
2	Suzuki S	外科治療学	The use of surgical glue in acute type A aortic dissection.	Gen Thorac Cardiovasc Surgery, 62(4) : 207-213,2014.
3	Yokoyama U	外科治療学	Prostaglandin E2 Inhibits Elastogenesis in the Ductus Arteriosus Via EP4 Signaling.	Circulation, 129(4):487-496, 2014.
4	Masuda M	外科治療学	Does cardioplegia during cardiac surgery protect the heart at any time?.	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery, 48(2):243-244, 2015.
5	Rino Y	外科治療学	Self-defensive response to bone disorder after gastric cancer surgery.	Clinical and Experimental Medical Sciences, 2(1):1-10, 2014.
6	Rino Y	外科治療学	Visualization of blood supply route to the reconstructed stomach by indocyanine green fluorescence imaging during esophagectomy.	BMC Medical Imaging,14(1):18, 2014.
7	Rino Y	外科治療学	Vitamine E deficiency begins within 6 months after gastrectomy for gastric cancer.	World Journal of Surgery, 38(8):2065-2069, 2014.
8	Rino Y	外科治療学	Using NU-KNIT® for hemostasis around recurrent laryngeal nerve during transthoracic esophagectomy with lymphadenectomy for esophageal cancer.	BMC Research Notes, 6(7):127, 2014.
9	Yamada T	外科治療学	Impact of overexpression of Sushi repeat-containing protein X-linked 2 gene on outcomes of gastric cancer.	J Surg Oncology, 109(8):836-840, 2014.
10	Oshima T	外科治療学	Relation of INHBA Gene Expression to Outcomes in Gastric Cancer after Curative Surgery.	Anticancer Research, 34(5):2303-2309, 2014.

11	Yamada T	外科治療学	Feasibility of enhanced recovery after surgery in gastric surgery: a retrospective study.	BMC Surgery, 14:41, 2014.
12	Ishikawa Y	外科治療学	Surgical treatment for synchronous primary lung adenocarcinomas.	The Annals of Thoracic Surgery, 98(6):1983-1988, 2014.
13	Okudela K	外科治療学	Allelic imbalance in the miR-31 host gene locus in lung cancer—its potential role in carcinogenesis.	PLoS One, 9(6):e100581, 2014.
14	Samejima J	外科治療学	Thoracoscopic lung biopsy in 285 patients with diffuse pulmonary disease.	Asian Cardiovascular & Thoracic Annals, 23(2) 191-197,2015.
15	Takeuchi M	眼科学	Evaluation of long-term efficacy and safety of infliximab treatment for uveitis in Behçet's disease: a multicenter study.	Ophthalmology. 121(10): 1877-1884, 2014
16	Yamane T	眼科学	Surgical outcomes of progressive tractional retinal detachment associated with familial exudative vitreoretinopathy.	Am J Ophthalmol. 158(5):1049-55, 2014
17	Ichikawa Y	がん総合医科学	Colorectal laterally spreading tumors show characteristic expression of cell polarity factors, including atypical protein kinase C $\lambda / \iota$ , E-cadherin, $\beta$ -catenin and basement membrane component.	Oncol Lett. 8 (3) : 977-984, 2014.
18	Kobayashi N	がん総合医科学	Endoscopic treatment of postoperative benign bile duct stricture compared with malignant bile duct stricture.	Hepatogastroenterology 61: 19-30:2014.
19	Ota M	がん総合医科学	The effect of pyridoxine for prevention of hand-foot syndrome in colorectal cancer patients with adjuvant chemotherapy using capecitabine: a randomized study.	Hepato-Gastroenterology, 61 : 1008-1013, 2014.
20	Kumamoto T	がん総合医科学	Intrahepatic cholangiocarcinoma arising 28 years after excision of a type IV-A congenital choledochal cyst: report of a case.	Surg Today, 44 : 354-358, 2014.
21	Watanabe J	がん総合医科学	The impact of visceral obesity on surgical outcomes of laparoscopic surgery for colon cancer.	Int J Colorectal Dis, 29 : 343-351, 2014.
22	Hiroshima Y	がん総合医科学	Efficacy of tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R in combination with anti-angiogenesis therapy on a pancreatic cancer patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) and cell line mouse models.	Oncotarget, 5 (23) : 12346-12357, 2014.

23	Hiroshima Y	がん総合医科学	The tumor-educated-macrophage increase of malignancy of human pancreatic cancer is prevented by zoledronic acid.	PLOS ONE, 9 (8) : e103382, 2014.
24	Hiroshima Y	がん総合医科学	Metastatic Recurrence in a Pancreatic Cancer Patient Derived Orthotopic Xenograft (PDOX) Nude Mouse Model Is Inhibited by Neoadjuvant Chemotherapy in Combination with Fluorescence-Guided Surgery with an Anti-CA 19-9-Conjugated Fluorophore.	PLoS One, 9 (12) : e114310, 2014.
25	Ozawa M	がん総合医科学	Prognostic significance of CD44 variant 2 upregulation in colorectal cancer.	Br J Cancer, 111 (2) : 365-74, 2014.
26	Yamamoto S	がん総合医科学	Patients with CD133-negative colorectal liver metastasis have a poor prognosis after hepatectomy.	Ann Surg Oncol, 21 (6) : 1853-1861, 2014.
27	Tanaka K	がん総合医科学	Reversal of attachment to or invasion of major intrahepatic vessels by colorectal liver metastases according to prehepatectomy chemotherapy regimen.	Surgery, 155 (5) :936-944, 2014.
28	Hata M	がん総合医科学	Radiation therapy for very elderly patients aged 80 years and older with squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	Am J Clin Oncol, 2014. [Epub ahead of print]
29	Hata M	がん総合医科学	Postoperative radiation therapy for extramammary Paget's diseases.	Br J Dermatol, 2014. doi: 10.1111/bjd.13357. [Epub ahead of print]
30	Miyagi E	がん総合医科学	Attitudes toward cervical cancer screening among women receiving human papillomavirus vaccination in a university-hospital-based community: Interim 2-year follow-up results.	J Obstet Gynaecol Res, 40(4): 1105-1113, 2014.
31	Asai-Sato M	がん総合医科学	Reappraisal of mechanical exfoliating cytology for the detection of peritoneal dissemination during the surgical staging of epithelial ovarian carcinomas and borderline tumours.	Acta Cytl, 58(3): 255-261, 2014.
32	Tokinaga A	がん総合医科学	Colonic low-grade endometrial stromal sarcoma and orthotopic endometrial stromal tumor with limited infiltration sharing the JAZF1-SUZ12 gene fusion.	Pathol Int, 64(4): 178-182, 2014.
33	Ihata Y	がん総合医科学	Amino acid profile index for early detection of endometrial cancer: verification as a novel diagnostic marker.	Int J Clin Oncol, 19(2): 364-372, 2014.
34	Miyagi E	がん総合医科学	Web-based recruiting for a survey on knowledge and awareness of cervical cancer prevention among young women living in Kanagawa Prefecture, Japan.	Int J Gynecol Cancer, 24(7): 1347-1355, 2014.

35	Fujisawa T	がん総合医科学	Prophylactic Efficacy of 3 or 5-cm Pancreatic Stents for Preventing Post-ERCP Pancreatitis: A Prospective, Randomized Trial.	J Clin Gastroenterol. 2015 Aug 12. [Epub ahead of print]
36	Iida H	がん総合医科学	Early effects of oral administration of esomeprazole and omeprazole on the intragastric pH.	Hepatogastroenterology. 2015;62:493-6
37	Kobayashi N	がん総合医科学	Endoscopic inside stent placement is suitable as a bridging treatment for preoperative biliary tract cancer.	BMC Gastroenterol. 2015 Feb 5;15:8. doi: 10.1186/s12876-015-0233-2
38	Fujisawa T	がん総合医科学	Endoscopic nasobiliary drainage for obstructive jaundice using either a 5 Fr or 7 Fr catheter: a prospective, randomized trial.	BMC Gastroenterol. 2014 Sep 18;14:161. doi: 10.1186/1471-230X-14-161
39	Kubota K	がん総合医科学	Autoimmune pancreatitis associated with pancreatic cyst: how can we manage it?	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014;21:902-10
40	Sato T	がん総合医科学	Gastroduodenal stenting with Niti-S stent: long-term benefits and additional stent intervention.	Dig Endosc. 2015;27:121-9
41	Kawa S	がん総合医科学	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. ; Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 II. Extrapancreatic lesions, differential diagnosis.	J Gastroenterol. 2014;49:765-84.
42	Kamisawa T	がん総合医科学	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. : Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 III. Treatment and prognosis of autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol. 2014;49:961-70
43	Okazaki K	がん総合医科学	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. ; Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 I. Concept and diagnosis of autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol. 2014;49:567-88

44	Fujisawa T	がん総合医科学	Endoscopic papillary large-balloon dilation versus endoscopic papillary regular-balloon dilation for removal of large bile-duct stones.	J Gastroenterol. 2014;49:567-88
45	Sukegawa A	がん総合医科学	Three-year questionnaire survey on human papillomavirus vaccination targeting new female college students.	J Obstet Gynaecol Res, 41(1): 99-106, 2015.
46	Hata M	がん総合医科学	Radiation therapy for lymph node metastasis from extramammary Paget's disease.	J Eur Acad Dermatol Venereol 2014; 28(7): 873-877.
47	Hata M	がん総合医科学	Iris metastasis from small-cell lung cancer.	J Thorac Oncol 2014; 9(10): 1584-1585.
48	Hata M	がん総合医科学	Radiation therapy for angiosarcoma of the scalp: treatment outcomes of total scalp irradiation with X-rays and electrons.	Strahlenther Onkol 2014; 190(10): 899-904.
49	Hata M	がん総合医科学	Severe retinopathy following radiation therapy with a moderate dose for orbital mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Hematol Oncol 2014; 32(4): 212-214
50	Mitsudo K	がん総合医科学	Retrograde superselective intra-arterial chemotherapy and daily concurrent radiotherapy for stage III and IV oral cancer: analysis of therapeutic results in 112 cases.	Radiother Oncol 2014; 111(2): 306-310
51	Taguchi T	がん総合医科学	Treatment results and prognostic factors for advanced squamous cell carcinoma of the hypopharynx treated with concurrent chemoradiotherapy.	Cancer Chemother Pharmacol 2014; 73(6): 1147-1154
52	Aoki-Nakano M	がん総合医科学	Relative biological effectiveness of therapeutic proton beams for HSG cells at Japanese proton therapy facilities.	J Radiat Res 2014; 55(4): 812-815.
53	Odagiri K	がん総合医科学	Treatment outcomes and late toxicities in patients with embryonal central nervous system tumors.	Radiat Oncol 2014; 9(1): 201.
54	Taguchi T	がん総合医科学	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with S-1 in patients with stage II (T2N0M0) squamous cell carcinoma of the pharynx or larynx.	Jpn J Clin Oncol 2014; 44(12): 1158-1163
55	Katahira-Suzuki R	がん総合医科学	Definitive chemo-radiotherapy for squamous cell carcinoma of the pharynx: impact of baseline low hemoglobin level (<12 g/dL) and post-radiation therapy F-18 FDG-PET/CT.	Ann Nucl Med 2015; 29(1): 37-45
56	Makita C	がん総合医科学	High-dose proton beam therapy for stage I non-small cell lung cancer: clinical outcomes and prognostic factors.	Acta Oncol 2015; 54(3): 307-314

57	Hata M	がん総合医科学	Radiation therapy for very elderly patients aged 80 years and older with squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	Am J Clin Oncol; in press.
58	Hayashi N	がん総合医科学	Ten-year outcomes of I125 low-dose-rate brachytherapy for clinically localized prostate cancer: a single-institution experience in Japan.	World J Urol; in press
59	Nishimura G	がん総合医科学	Predictive markers, including total lesion glycolysis, for the response of lymph node(s) metastasis from head and neck squamous cell carcinoma treated by chemoradiotherapy.	Int J Clin Oncol ; in press
60	Akinobu Nemoto	医療情報部	“Control Access Point of Devices for Delay Reduction in WBAN Systems with CSMA/CA”	Communications and Network 07(01):1-11 · (2015-01)
61	Takakura T	医療情報部	“Chronic expanding hematoma in the stumps of persons following transfemoral amputation: A report of two cases.”	Prosthet Orthot Int, vol.38 no.3 pp243-247(2014-07)
62	Miyagi E	産婦人科学	Attitudes toward cervical cancer screening among women receiving human papillomavirus vaccination in a university-hospital-based community: interim 2-year follow-up results.	J Obstet Gynaecol Res., 40(4):1105-13, 2014.
63	Miyagi E	産婦人科学	Web-based recruiting for a survey on knowledge and awareness of cervical cancer prevention among young women living in Kanagawa prefecture, Japan.	Int J Gynecol Cancer., 24(7): 1347-55, 2014.
64	Asai-Sato M	産婦人科学	Reappraisal of mechanical exfoliating cytology for the detection of peritoneal dissemination during the surgical staging of epithelial ovarian carcinomas and borderline tumours.	Acta Cytol., 58(3): 255-61, 2014.
65	Sukegawa A	産婦人科学	Three-year questionnaire survey on human papillomavirus vaccination targeting new female college students.	J Obstet Gynaecol Res., 41(1):99-106, 2015.
66	Ihata Y	産婦人科学	Amino acid profile index for early detection of endometrial cancer: verification as a novel diagnostic marker.	Int J Clin Oncol., 19(2):364-72, 2014.
67	Asano R	産婦人科学	Dienogest was effective in treating hemorrhagic ascites caused by endometriosis: a case report.	J Minim Invasive Gynecol, 21(6): 1110-2, 2014.
68	Tokinaga A	産婦人科学	Colonic low-grade endometrial stromal sarcoma and orthotopic endometrial stromal tumor with limited infiltration sharing the JAZF1-SUZ12 gene fusion.	Pathol Int., 64(4): 178-82, 2014.
69	Aoki R	小児科	Decreased serum osmolality promotes ductus arteriosus constriction.	Cardiovasc Res. 104: 326-36. 2014

70	Kizawa T	小児科	Mycophenolate mofetil as maintenance therapy for childhood-onset systemic lupus erythematosus patients with severe lupus nephritis.	Mod Rheumatol. 27: 1-5. 2014
71	Nakano Y	小児科	Usefulness of real-time three-dimensional trans-oesophageal echocardiography for detection of isolated unroofed coronary sinus.	Cardiology in Young. 19: 1-3. 2014
72	Nishimaki S	小児科	Postnatal changes of cytokines in premature infants with or without funisitis.	J Matern Fetal Neonatal Med. 27: 1545-9. 2014
73	Sonoda K	小児科	Infliximab plus plasma exchange rescue therapy in Kawasaki disease.	J Pediatr. 164: 1128-32. 2014
74	Tanoshima R	小児科	Population PK modeling and simulation based on fluoxetine and norfluoxetine concentrations in milk: A milk concentration-based prediction model.	Br J Clin Pharmacol. 78: 918-28. 2014
75	Yokota S	小児科	Long-term safety and effectiveness of the anti-interleukin-6 receptor monoclonal antibody tocilizumab in patients with systemic juvenile idiopathic arthritis in Japan.	J Rheumatol. 41: 759-67. 2014
76	Yokoyama U	小児科	Prostaglandin E2 inhibits elastogenesis in the ductus arteriosus via EP4 signaling. Circulation.	129: 487-96. 2014
77	Aoki C	整形外科科学	Discrepancy between Clinical and Radiological Responses to Tocilizumab Treatment in Patients with Systemic-Onset Juvenile Idiopathic Arthritis.	J Rheumatol, 41(6): 1171-1177, 2014.
78	Inaba Y	整形外科科学	Multicenter study of Blount disease in Japan by Japanese Pediatric Orthopaedic Association.	J Orthop Sci, 19 (1): 132-140, 2014.
79	Iwamoto N	整形外科科学	The effectiveness of mono or combined osteoporosis drugs therapy against bone mineral density loss around femoral implants after total hip arthroplasty.	J Bone Miner Metab, 32 (5): 539-544, 2014.
80	Choe H	整形外科科学	Rapid sensitive molecular diagnosis of pyogenic spinal infections using MRS specific PCR and 16S rRNA gene-based universal PCR.	Spine J. 14: 255-262, 2014.
81	Choe H	整形外科科学	Evaluation of the time period for which real-time polymerase chain reaction detects dead bacteria.	Pol J Microbiol, 63(4):393-8, 2014.
82	Kobayashi H	整形外科科学	The surgical epicondylar axis is a consistent reference of the distal femur in the coronal and axial planes.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 22(12), 2947-53, 2014.



83	Kobayashi H	整形外科科学	Is the Surgical Epicondylar Axis the Center of Rotation in the Osteoarthritic Knee?	The Journal of Arthroplasty, 30(3):630-6,2015.
84	Kobayashi H	整形外科科学	The surgical epicondylar axis is a consistent reference of the distal femur in the coronal and axial planes.	Knee Surg. Sports Traumatol Arthrosc 22:2947-2953, 2014.
85	Kobayashi H	整形外科科学	Reproducibility of Condylar twist angle measurement using computed tomography and axial radiography of the distal femur.	Orthopaedics & Traumatology :Surgery & Research 100: 885-890, 2014.
86	Kobayashi N	整形外科科学	Comparison of 18F-fluoride positron emission tomography and magnetic resonance imaging in evaluating early-stage osteoarthritis of the hip.	Nucl Med Commun. 36(1):84-9,2014.
87	Kobayashi N	整形外科科学	Bone mineral density distribution in the proximal femur and its relationship to morphologic factors in progressed unilateral hip osteoarthritis.	J Bone Miner Metab, 33(4):455-61, 2014.
88	Kohno M	整形外科科学	Surgical Treatment of Gorham's Disease with Massive Osteolysis of the Skull and Cervical Spine: A Case Report and Review of Literature.	NMC Case Report Journal , 2014.
89	Kumagai K	整形外科科学	Five-to ten-year outcome following medial opening-wedge high tibial osteotomy with rigid plate fixation in combination with an artificial bone substitute.	Bone Joint J, 96-B(3): 339-44, 2014.
90	Kuniya K	整形外科科学	Prospective study of superior cluneal nerve disorder as a potential cause of low back pain and leg symptoms.	Journal: Journal of Orthopaedic Surgery and Research, 9; 139, 2014.
91	Tezuka T	整形外科科学	Long-term results of Porous-coated Anatomic Total Hip Arthroplasty for patients with osteoarthritis of the hip.	J Arthroplasty, 29 (12): 2251-2255, 2014.
92	Tezuka T	整形外科科学	Effects of hip joint center location and femoral offset on abductor muscle strength after total hip arthroplasty	Mod Rheumatol, 22:1-7, 2014.
93	Yamada K	整形外科科学	Lumbar foraminal stenosis causes leg pain at rest.	European Spine Journal , 23: 504-507, 2014.
94	Yamada K	整形外科科学	Roentgenographic and computed tomographic findings in symptomatic lumbar foraminal stenosis.	European Spine Journal , 24(2): 333-8, 2014.
95	Yamada K	整形外科科学	A long-term follow-up study of open reduction using Ludloff's approach for congenital or developmental dislocation of the hip	Bone Joint Research 3-1: 1-6, 2014.

96	Yukizawa Y	整形外科	Selective Pharmacological Prophylaxis Based on Individual Risk Assessment Using Plasma Levels of Soluble Fibrin and Plasminogen Activator Inhibitor-1 Following Total Hip Arthroplasty.	Mod Rheumatol, 24 (5): 835-839, 2014.
97	Kubota K	内視鏡センター	Autoimmune pancreatitis associated with pancreatic cyst: how can we manage it?	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014;21:902-10.
98	Sato T	内視鏡センター	Gastroduodenal stenting with Niti-S stent: long-term benefits and additional stent intervention.	Dig Endosc. 2015;27:121-9.
99	Kawa S	内視鏡センター	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 II. Extrapancreatic lesions, differential diagnosis.	J Gastroenterol. 2014;49:765-84.
100	Okazaki K	内視鏡センター	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 I. Concept and diagnosis of autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol. 2014;49:567-88
101	Endo H	内視鏡センター	Risk factors for small-bowel mucosal breaks in chronic low-dose aspirin users: data from a prospective multicenter capsule endoscopy registry.	Gastrointest Endosc. 80(5):826-34, 2014.
102	Endo H	内視鏡センター	Small bowel injury in low-dose aspirin users.	J Gastroenterol. 2014 Dec 14. [Epub]
103	Ohkubo H	内視鏡センター	Histopathologic findings in patients with idiopathic megacolon: a comparison between dilated and non-dilated loops.	Neurogastroenterol Motil. 26(4):571-80, 2014.
104	Higurashi T	内視鏡センター	Conditional knockout of the leptin receptor in the colonic epithelium revealed the local effects of leptin receptor signaling in the progression of colonic tumors in mice.	Carcinogenesis. 35(9):2134-41, 2014.
105	Fujisawa T	内視鏡センター	Endoscopic nasobiliary drainage for obstructive jaundice using either a 5 Fr or 7 Fr catheter: a prospective, randomized trial.	BMC Gastroenterol. 14:161, 2014.
106	Fujisawa T	内視鏡センター	Endoscopic papillary large-balloon dilation versus endoscopic papillary regular-balloon dilation for removal of large bile-duct stones.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014;21:405-9.

107	Kobayashi N	内視鏡センター	Endoscopic treatment of postoperative benign bile duct stricture compared with malignant bile duct stricture.	Hepatogastroenterology. 2014;61:1507-18.
108	Kobayashi N	内視鏡センター	Endoscopic inside stent placement is suitable as a bridging treatment for preoperative biliary tract cancer.	BMC Gastroenterol. 2015; 15:8. DOI 10.1186/s12876-015-0233-2.
109	Takahashi H	内視鏡センター	Colon epithelial proliferation and carcinogenesis in diet-induced obesity.	J Gastroenterol Hepatol. 2013 Dec;28 Suppl 4:41-7. Doi: 10.1111/jgh.12240
110	Sakai E	内視鏡センター	Methylation epigenotypes and genetic features in colorectal laterally spreading tumors. Int J Cancer.	2014 Oct 1;135(7):1586-95. doi: 10.1002/ijc.28814. Epub 2014 Mar 10.
111	Taniguchi L	内視鏡センター	Metabolic factors accelerate colorectal adenoma recurrence.	BMC Gastroenterol. 2014 Oct 23;14(1):187.
112	Sakai E	内視鏡センター	Frequency and risk factors for rebleeding events in patients with small bowel angioectasia.	BMC Gastroenterol. 2014 Nov 28;14(1):200
113	Matsuura M	内視鏡センター	Lubiprostone decreases the small bowel transit time by capsule endoscopy: an exploratory, randomized, double-blind, placebo-controlled 3-way crossover study.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:879595. doi: 10.1155/2014/879595. Epub 2014 Dec 29.
114	Fujisawa T	内視鏡センター	Prophylactic Efficacy of 3 or 5-cm Pancreatic Stents for Preventing Post-ERCP Pancreatitis: A Prospective, Randomized Trial.	J Clin Gastroenterol. 2015 Aug 12. [Epub ahead of print]
115	Iida H	内視鏡センター	Early effects of oral administration of esomeprazole and omeprazole on the intragastric pH.	Hepatogastroenterology. 2015;62:493-6
116	Kobayashi N	内視鏡センター	Endoscopic inside stent placement is suitable as a bridging treatment for preoperative biliary tract cancer.	BMC Gastroenterol. 2015 Feb 5;15:8. doi: 10.1186/s12876-015-0233-2
117	Kobayashi N	内視鏡センター	Endoscopic treatment of postoperative benign bile duct stricture compared with malignant bile duct stricture.	Hepatogastroenterology. 2014;61:1507-18

118	Sato T	内視鏡センター	Gastroduodenal stenting with Niti-S stent: long-term benefits and additional stent intervention.	Dig Endosc. 2015;27:121-9.
119	Kamisawa T	内視鏡センター	Working Committee of the Japan Pancreas Society and the Research Committee for Intractable Pancreatic Disease supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan.	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 III. Treatment and prognosis of autoimmune pancreatitis. J Gastroenterol. 2014;49:961-70.
120	Fujisawa T	内視鏡センター	Endoscopic papillary large-balloon dilation versus endoscopic papillary regular-balloon dilation for removal of large bile-duct stones.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014;21:405-9.
121	Yao M	泌尿器科学	Tumor signatures of PTHLH overexpression, high serum calcium, and poor prognosis were observed exclusively in clear cell but not non clear cell renal carcinomas.	Cancer Med. 2014 May 26. doi: 10.1002/cam4.270.
122	Yokonishi T	泌尿器科学	Offspring production with sperm grown in vitro from cryopreserved testis tissues.	Nat Commun. 2014 Jul 1;5:4320. doi: 10.1038/ncomms5320.
123	Kakizoe M	泌尿器科学	The early response of renal cell carcinoma to tyrosine kinase inhibitors evaluated by FDG PET/CT was not influenced by metastatic organ. BMC Cancer.	2014 Jun 2;14:390. doi: 10.1186/1471-2407-14-390.
124	Izumi K	泌尿器科学	Androgen deprivation therapy prevents bladder cancer recurrence.	Oncotarget, 5(24):12665-12674,2014.
125	Hayashi N	泌尿器科学	Ten-year outcomes of I125 low-dose-rate brachytherapy for clinically localized prostate cancer: a single-institution experience in Japan.	World J Urol. 2015 Jan 23. [Epub ahead of print]
126	Makiyama K	泌尿器科学	Validation of a patient-specific simulator for laparoscopic renal surgery.	Int J Urol. 2015 Jun;22(6):572-6. doi: 10.1111/iju.12737. Epub 2015 Feb 26.
127	Ito H	泌尿器科学	Long-term caloric restriction in rats may prevent age related impairment of in vitro bladder function.	J Urol. 2015 Jun;193(6):2123-30. doi: 10.1016/j.juro.2014.11.005. Epub 2014 Nov 11.

128	Kawahara T	泌尿器科学	Ureteroscopy-assisted retrograde nephrostomy for a large and obstructive renal pelvic stone: a case report.	J Med Case Rep. 2015 Feb 27;9:44. doi: 10.1186/s13256-015-0529-4.
129	Yamanaka H	泌尿器科学	Measurement of the Physical Properties during Laparoscopic Surgery Performed on Pigs by Using Forceps with Pressure Sensors.	Adv Urol. 2015;2015:495308. doi: 10.1155/2015/495308. Epub 2015 Feb 17.
130	Kawahara T	泌尿器科学	Double ureteral access sheath (UAS) technique for complicated distal ureteral stone.	Urolithiasis. 2015 Feb;43(1):99-100.
131	Iribe Y	泌尿器科学	Immunohistochemical characterization of renal tumors in patients with Birt-Hogg-Dubé syndrome.	Pathol Int. 2015 Mar;65(3):126-32. doi: 10.1111/pin.12254. Epub 2015 Jan 19.
132	Hasumi H	泌尿器科学	Folliculin-interacting proteins Fnip1 and Fnip2 play critical roles in kidney tumor suppression in cooperation with Flcn.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Mar 31;112(13):E1624-31. doi: 10.1073/pnas.1419502112. Epub 2015 Mar 16.
133	Okudela K	病理診断科	A comprehensive search for microRNAs with expression profiles modulated by oncogenic KRAS: Potential involvement of miR-31 in lung carcinogenesis.	Oncol Rep. 32:1374-84, 2014.
134	Okudela K	病理診断科	Allelic imbalance in the miR-31 host gene locus in lung cancer--its potential role in carcinogenesis.	PLoS One. 9:e100581. doi: 10.1371/journal.pone.010005, 2014
135	Okudela K	病理診断科	Proteome analysis for downstream targets of oncogenic KRAS--the potential participation of CLIC4 in carcinogenesis in the lung.	PLoS One. 9:e87193, 2014.
136	Okudela K	病理診断科	A case of pulmonary hamartoma with distinctive histopathological features: a discussion of its differential diagnosis and histogenesis.	Pathol Int. 64:618-23. doi: 10.1111/pin.12222, 2014.
137	Okudela K	病理診断科	An association between nuclear morphology and immunohistochemical expression of p53 and p16INK4A in lung cancer cells.	Medical molecular morphology, 47:130-136, 2014.
138	Matsuura M	臨床研修センター	Effectiveness of therapeutic barium enema for diverticular hemorrhage.	World J Gastroenterol. 2015 May 14;21(18):5555-9.
139	Iida H	臨床研修センター	Early effects of oral administration of esomeprazole and omeprazole on the intragastric pH. Hepatogastroenterology.	2015 Mar-Apr;62(138):493-6.

140	Suzuki K	臨床研修センター	A metastatic melanoma of the small intestine diagnosed by single-balloon enteroscopy.	Turk J Gastroenterol. 2014 Dec;25 Suppl 1:262-3.
141	Koide T	臨床研修センター	Percutaneous endoscopic gastrostomy in a patient with hemophilia A.	Turk J Gastroenterol. 2014 Dec;25 Suppl 1:241.
142	Inoue S	臨床研修センター	Low-dose ramosetron accelerates gastric emptying in the early phase: A crossover study in healthy volunteers using a continuous real-time 13C breath test (BreathID System).	Turk J Gastroenterol. 2015 Mar;26(2):123-7.
143	Oshima A	臨床研修センター	Ischemic gastritis.	Turk J Gastroenterol. 2014 Dec;25 Suppl 1:289-90.
144	Nonaka T	臨床研修センター	Correlation between gastric transit time measured by video capsule endoscopy and gastric emptying determined by the continuous real-time 13C breath test (BreathID system).	Hepatogastroenterology. 2014 Oct;61(135):2159-62.
145	Matsuura M	臨床研修センター	Lubiprostone decreases the small bowel transit time by capsule endoscopy: an exploratory, randomised, double-blind, placebo-controlled 3-way crossover study.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:879595.
146	Kusakabe A	臨床研修センター	Effects of ramosetron oral disintegrating tablets on gastric emptying: crossover study using the 13C-acetic acid breath test.	Hepatogastroenterology. 2014 Jul-Aug;61(133):1279-82.
147	Yamada E	臨床研修センター	Constipation is not associated with colonic diverticula: a multicenter study in Japan.	Neurogastroenterol Motil. 2015 Mar;27(3):333-8.
148	Kikkawa N	臨床研修センター	Comparative study of the QUEST questionnaire and GerdQ questionnaire for Japanese students. Hepatogastroenterology.	2014 Sep;61(134):1605-10.
149	Inamori M	臨床研修センター	Protective effect of lactoferrin on acute acid reflux-induced esophageal mucosal damage.	Hepatogastroenterology. 2014 Sep;61(134):1595-600.
150	Kusakabe A	臨床研修センター	Effects of ramosetron oral disintegrating tablets on gastric emptying: crossover study using the 13C-acetic acid breath test.	Hepatogastroenterology. 2014 Jul-Aug;61(133):1279-82.
151	Ida T	臨床研修センター	Endoscopic removal of a migrated stent in the gallbladder. Endoscopy.	2014;46 Suppl 1 UCTN:E539-40.
152	Yamada E	臨床研修センター	Association between the location of diverticular disease and the irritable bowel syndrome: a multicenter study in Japan.	Am J Gastroenterol. 2014 Dec;109(12):1900-5.

153	Takahata M	臨床研修センター	Comparison of intragastric balloon therapy and intensive lifestyle modification therapy with respect to weight reduction and abdominal fat distribution in super-obese Japanese patients.	Obes Res Clin Pract. 2014 Jul-Aug;8(4):e331-8.
154	Chiba H	臨床研修センター	Early colon cancer presenting as intussusception and successfully treated using endoscopic submucosal dissection. Endoscopy.	2014;46 Suppl 1 UCTN:E326-7. doi: 10.1055/s-0034-1377224. Epub 2014 Aug 4. PubMed PMID: 25090463.
155	Endo H	臨床研修センター	Risk factors for small-bowel mucosal breaks in chronic low-dose aspirin users: data from a prospective multicenter capsule endoscopy registry.	Gastrointest Endosc. 2014 Nov;80(5):826-34.
156	Kusakabe A	総合診療医学教室	Effects of ramosetron oral disintegrating tablets on gastric emptying: crossover study using the <sup>13</sup> C-acetic acid breath test.	Hepatogastroenterology.;61(133):1279-82. 2014 Jul-Aug
157	Kawanishi C	精神医学	Effectiveness of assertive case management for suicide attempters who were admitted to emergency departments: a randomised controlled multicentre trial in Japan, ACTION-J.	Lancet Psychiatry, 1, 193-201, 2014.
158	Chiba Y	精神医学	Clinical profiles of dementia with Lewy bodies with and without Alzheimer's disease-like hypometabolism.	Int J Geriatr Psychiatry. 2015 Mar;30(3):316-23.
159	Endo I	消化器・腫瘍外科学	Imaging and surgical planning for perihilar cholangiocarcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 21 (8) : 525-532, 2014.
160	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学	Application of reduced-port laparoscopic total gastrectomy in gastric cancer preserving the pancreas and spleen.	Gastric Cancer, DOI 10.1007/s10120-014-0441-4.
161	Kunisaki C	消化器・腫瘍外科学	Impact of S-1 plus Cisplatin neoadjuvant chemotherapy on scirrhous gastric cancer.	Oncology.88(5):281-288,2015.
162	Ichikawa Y	消化器・腫瘍外科学	Colorectal laterally spreading tumors show characteristic expression of cell polarity factors, including atypical protein kinase C $\lambda / \iota$ , E-cadherin, $\beta$ -catenin and basement membrane component.	Oncol Lett. 8 (3) : 977-984, 2014.
163	Ota M	消化器・腫瘍外科学	The effect of pyridoxine for prevention of hand-foot syndrome in colorectal cancer patients with adjuvant chemotherapy using capecitabine: a randomized study.	Hepato-Gastroenterology, 61 : 1008-1013, 2014.
164	Kumamoto T	消化器・腫瘍外科学	Intrahepatic cholangiocarcinoma arising 28 years after excision of a type IV-A congenital choledochal cyst: report of a case.	Surg Today, 44 : 354-358, 2014.

165	Kosaka T	消化器・腫瘍外科学	Preoperative S-1 and docetaxel combination chemotherapy in patients with locally advanced gastric cancer.	Cancer Chemother Pharmacol, 73: 281-285,2014.
166	Narui K	消化器・腫瘍外科学	Optimizing the selection of patients with low rectal cancer for intersphincteric resection by evaluating vertical invasion to the levator and external sphincter .	Colorectal Disease,17(2):133-140,2015
167	Homma Y	消化器・腫瘍外科学	Immunological impact of neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol, 21 (2) : 670-676, 2014.
168	Homma Y	消化器・腫瘍外科学	Changes in the immune cell population and cell proliferation in peripheral blood after gemcitabine-based chemotherapy for pancreatic cancer.	Clin Transl Oncol, 16 : 330-335, 2014.
169	Sato M	消化器・腫瘍外科学	Severity and prognostic assessment of the endotoxin activity assay in biliary tract infection.	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 21 (2) : 120-127, 2014.
170	Sawada Y	消化器・腫瘍外科学	Identification of HLA-A2 or HLA-A24-restricted CTL epitopes for potential HSP 105-targeted immunotherapy in colorectal cancer.	ONCOLOGY REPORTS, 31: 1051-1058, 2014.
171	Akiyama E	循環器・腎臓内科学	Is high-dose statin loading effective for acute decompensated heart failure? Insight of inflammation and acute kidney injury.	Circulation Journal, 78(10): 2380-1, 2014.
172	Arakawa K	循環器・腎臓内科学	Refractory vasospasms of the coronary arteries due to multiple factors: an autopsy case.	Internal Medicine, 53(9):963-967,2014.
173	Azushima K	循環器・腎臓内科学	Effects of Single Pill-based Combination Therapy of Amlodipine and Atorvastatin on Within-visit BP Variability and Parameters of Renal and Vascular Function in Hypertensive Patients with Chronic Kidney Disease.	BioMed Research International, Article ID 437087, 2014.
174	Fujiwara A	循環器・腎臓内科学	Impaired nitric oxide production and increased blood pressure in systemic heterozygous ATP2B1 null mice.	J Hypertens, 32(7):1415-23.2014.
175	Hirukawa T	循環器・腎臓内科学	Kidney Diseases Enhance Expression of Tetraspanin-8: A Possible Protective Effect against Tubular Injury.	Nephron Extra, 4(1):70-81. 2014.
176	Horiguchi Y	循環器・腎臓内科学	Validation of a short-scan-time imaging protocol for thallium-201 myocardial SPECT with a multifocal collimator.	Ann Nucl Med, 28(8):707-715, 2014.



177	Hosoda J	循環器・腎臓内科学	Clinical significance of collateral superficial vein across clavicle in patients with cardiovascular implantable electronic device.	Circ J, 78(8):1846-50, 2014.
178	Ishigami T	循環器・腎臓内科学	Identification of bona fide alternative renin transcripts expressed along cortical tubules and potential roles in promoting insulin resistance in vivo without significant plasma renin activity elevation.	Hypertension,64(1):125-33,2014.
179	Ishigami T	循環器・腎臓内科学	Genetic variation in NEDD4L, salt sensitivity, and hypertension: human NEDD4L rs4149601 G allele generates evolutionary new isoform I with C2 domain.	J Hypertens, 32(9):1905,2014.
180	Kakimoto-Shino M	循環器・腎臓内科学	Changes in Heparin and Reticulocyte Hemoglobin Equivalent Levels in Response to Continuous Erythropoietin Receptor Activator Administration in Hemodialysis Patients: A Randomized Study.	Therapeutic Apheresis and Dialysis, 18(5):421-426, 2014.
181	Kataoka Y	循環器・腎臓内科学	DIANA study investigators. Clinical predictors of atheroma progression despite optimal glycemic control in early-stage diabetic patients with coronary artery disease: Insight from the DIANA study.	J Atheroscler Thromb, 21: 509-518, 2014.
182	Kato,S	循環器・腎臓内科学	Detection of diminished response to cold pressor test in smokers:Assessment using phase-contrast cine magnetic resonance imaging of the coronary sinus.	Magnetic Resonance Imaging, 32:217-223, 2014.
183	Kim-Mitsuyama S	循環器・腎臓内科学	Japanese Society of Hypertension Committee for Guidelines for the Management of Hypertension.	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014),Hypertens Res, 37(4):253-390.2014.
184	Konishi M	循環器・腎臓内科学	Higher level at admission and subsequent decline in hemoglobin in patients with acute pulmonary edema.	Circ J, 78(4):896-902, 2014.
185	Konishi M	循環器・腎臓内科学	Glucagon-like peptide-1 levels on admission for acute myocardial infarction with or without acute hyperglycemia.	Int J Cardiol, 176(3): 1214-1216, 2014.
186	Kosuge M	循環器・腎臓内科学	Review article Electrocardiographic findings of takotsubo cardiomyopathy as compared with those of anterior acute myocardial infarction.	J Electrocardiol, 47: 684-689, 2014.
187	Maeda A	循環器・腎臓内科学	Effects of Ang II receptor blocker irbesartan on adipose tissue function in mice with metabolic disorders.	11(6):646-51. 2014.

188	Maeda A	循環器・腎臓内科学	Effects of the Angiotensin receptor blocker olmesartan on adipocyte hypertrophy and function in mice with metabolic disorders.	Biomed Res Int,(e)946492, 2014.
189	Matsushita K	循環器・腎臓内科学	Longitudinal stent deformation elongating to left main trunk.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics, 29(3):247-251,2014.
190	Matsushita k	循環器・腎臓内科学	Long-term effect of cardiac pacing on sleep-disordered breathing in patients with conventional indications for a permanent pacemaker.	Journal of Arrhythmia, 30:95-99, 2014.
191	Matsushita K	循環器・腎臓内科学	Use of standard laboratory test values for monitoring treatment with the new anticoagulant, Rivaroxaban(Xarelto).	Progress in Medicine, 34: 131-137, 2014.
192	Nakamura M	循環器・腎臓内科学	OPERA Steering Committee and Investigators.	Catheter Cardiovasc Interv, 84: 368-374, 2014.
193	Nakayama N	循環器・腎臓内科学	Clinical features and prognosis of patients with coronary spasm-induced non-ST-segment elevation acute coronary syndrome.	J Am Heart Assoc, 8;3(3):e000795,2014.
194	Ogihara T	循環器・腎臓内科学	COLM Investigators:Combinations of olmesartan and a calcium channel blocker or a diuretic in elderly hypertensive patients: a randomized, controlled trial.	J Hypertens, 32(10):2054-63,2014.
195	Oshikawa J	循環器・腎臓内科学	Angiotensin receptor blocker (ARB)-diuretic versus ARB-calcium channel blocker combination therapy for hypertension uncontrolled by ARB monotherapy.	Clin Exp Hypertens, 36: 244-250, 2014.
196	Ohsawa M	循環器・腎臓内科学	Deletion of the angiotensin II type 1 receptor-associated protein enhances renal sodium reabsorption and exacerbates angiotensin II-mediated hypertension.	Kidney Int, 86(3):570-581, 2014.
197	Suzuki H	循環器・腎臓内科学	Utility of noninvasive endothelial function test for prediction of deep vein thrombosis after total hip or knee arthroplasty.	Circ J, 78(7):1723-32, 2014.
198	Shimamoto K	循環器・腎臓内科学	Japanese Society of Hypertension Committee for Guidelines for the Management of Hypertension.	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014),Hypertens Res, 37(4):253-390,2014.
199	Tamura K	循環器・腎臓内科学	Fetal programming by high-sucrose diet during pregnancy affects the vascular angiotensin II receptor-PKC-L-type Ca(2+) channels (Cav1.2) axis to enhance pressor responses.	Hypertens Res,37(9):796-8.2014.

200	Tamura K	循環器・腎臓内科学	Therapeutic impact of the single fixed-dose combination with a high-dose angiotensin-receptor blocker and a low-dose thiazide diuretic in the management of hypertension: awaiting further accumulation of clinical evidence.	Hypertens Res, 37(12):1032-4,2014.
201	Wen W	循環器・腎臓内科学	Meta-analysis of genome-wide association studies in East Asian-ancestry populations identifies four new loci for body mass index.	Hum Mol Genet, 23(20):5492-504, 2014.
202	Yokomatsu A	循環器・腎臓内科学	Loss of amino acids into dialysate during hemodialysis using hydrophilic and nonhydrophilic polyester-polymer alloy and polyacrylonitrile membrane dialyzers.	Ther Apher Dial, 18(4):340-6,2014.
203	Kato S	循環器・腎臓内科学	Prognostic value of cardiovascular magnetic resonance derived right ventricular function in patients with interstitial lung disease.	J Cardiovasc Magn Reson., 17(1):10;2015
204	Hibi K	循環器・腎臓内科学	Clinical Utility and Significance of Intravascular Ultrasound and Optical Coherence Tomography in Guiding Percutaneous Coronary Interventions.	Circ J,79(1):24-33,2015
205	Akiyama E	循環器・腎臓内科学	Decreased Plasma Levels of Active Glucagon-Like Peptide-1 in Coronary Artery Disease.	J Am Coll Cardiol,65(7):754-755,2015.
206	Adam E	循環器・腎臓内科学	Genetic studies of body mass index yield new insights for obesity biology.	Nature,12;518(7538):197-206,2015.
207	Arakawa K	循環器・腎臓内科学	B-type natriuretic peptide as a predictor of ischemia/reperfusion injury immediately after myocardial reperfusion in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction.	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care,(Epub ahead of print),2015.
208	Ichihara N	循環器・腎臓内科学	Effect of impaired renal function on the maintenance dose of warfarin in Japanese patients.	J Cardiol,65(3);178-4,2015.
209	Maejima N	循環器・腎臓内科学	Morphological features of non-culprit plaques on optical coherence tomography and integrated backscatter intravascular ultrasound in patients with acute coronary syndromes.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging,16(2):190-7,2015.
210	Hwang JY	循環器・腎臓内科学	Genome-wide association meta-analysis identifies novel variants associated with fasting plasma glucose in East Asians.	Diabetes. 64(1):291-8,2015.
211	Endo H	肝胆膵消化器病学	Risk factors for small-bowel mucosal breaks in chronic low-dose aspirin users: data from a prospective multicenter capsule endoscopy registry.	Gastrointest Endosc. 80(5):826-34, 2014.

212	Higurashi T	肝胆胰消化器病学	Conditional knockout of the leptin receptor in the colonic epithelium revealed the local effects of leptin receptor signaling in the progression of colonic tumors in mice.	Carcinogenesis. 35(9):2134-41, 2014.
213	Kessoku T	肝胆胰消化器病学	Japan Study Group of NAFLD (JSG-NAFLD). Insulin Resistance Correlated With the Severity of Liver Histology in Japanese NAFLD Patients: A Multicenter Retrospective Study.	J Clin Gastroenterol. 2014 Jul 10. [Epub ahead of print] No abstract available.
214	Kessoku T	肝胆胰消化器病学	Simple scoring system for predicting cirrhosis in nonalcoholic fatty liver disease.	World J Gastroenterol. 20(29):10108-14, 2014.
215	Ichikawa Y	肝胆胰消化器病学	Colorectal laterally spreading tumors show characteristic expression of cell polarity factors, including atypical protein kinase C $\lambda / \iota$ , E-cadherin, $\beta$ -catenin and basement membrane component.	Oncol Lett. 8(3):977-984, 2014.
216	Sakai E	肝胆胰消化器病学	Frequency and risk factors for rebleeding events in patients with small bowel angioectasia.	BMC Gastroenterol. 28;14(1):200, 2014.
217	Kobayashi N	肝胆胰消化器病学	Endoscopic treatment of postoperative benign bile duct stricture compared with malignant bile duct stricture.	Hepatogastroenterology. 61(134):1507-18, 2014.
218	Inamori M	肝胆胰消化器病学	Protective effect of lactoferrin on acute acid reflux-induced esophageal mucosal damage.	Hepatogastroenterology. 61(134):1595-600, 2014.
219	Endo H	肝胆胰消化器病学	Small bowel injury in low-dose aspirin users.	J Gastroenterol. 2014 Dec 14. [Epub ahead of print]
220	Imajo K	肝胆胰消化器病学	LDL-Migration Index (LDL-MI), an Indicator of Small Dense Low-Density Lipoprotein (sdLDL), Is Higher in Non-Alcoholic Steatohepatitis than in Non-Alcoholic Fatty Liver:	A Multicenter Cross-Sectional Study. PLoS One. 9(12):e115403, 2014.
221	Imajo K	肝胆胰消化器病学	Oral choline tolerance test as a novel noninvasive method for predicting nonalcoholic steatohepatitis.	J Gastroenterol. 49(2):295-304, 2014.
222	Matsuura M	肝胆胰消化器病学	Lubiprostone decreases the small bowel transit time by capsule endoscopy: an exploratory, randomised, double-blind, placebo-controlled 3-way crossover study.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:879595. doi: 10.1155/2014/879595. Epub 2014 Dec 29.
223	Nonaka T	肝胆胰消化器病学	Correlation between gastric transit time measured by video capsule endoscopy and gastric emptying determined by the continuous real-time $^{13}\text{C}$ breath test (BreathID system).	Hepatogastroenterology, 61(135): 2159-62, 2014.

224	Suzuki K1	肝胆胰消化器病学	Turk J Gastroenterol. A metastatic melanoma of the small intestine diagnosed by single-balloon enteroscopy.	2014 Dec;25 Suppl 1:262-3
225	Hino-Shishikura A	脳神経外科学	Tumor hypoxia and microscopic diffusion capacity in brain tumors: a comparison of (62)Cu-Diacetyl-Bis (N4-Methylthiosemicarbazone) PET/CT and diffusion-weighted MR imaging.	European journal of nuclear medicine and molecular imaging 41:1419-1427, 2014.
226	Hu X	脳神経外科学	Neurobiology of microglial action in CNS injuries: receptor-mediated signaling mechanisms and functional roles.	Prog Neurobiol, Aug-Sep, 119-120:60-84, 2014.
227	Takami H	脳神経外科学	Revisiting TP53 Mutations and Immunohistochemistry-A Comparative Study in 157 Diffuse Gliomas.	Brain Pathol, 2014.
228	Takase H	脳神経外科学	Critical ventriculo-peritoneal shunt failure due to peritoneal tuberculosis: Case report and diagnostic suggestions for abdominal pseudocyst.	Surg Neurol Int, 5: 71, 2014.
229	Tateishi U	脳神経外科学	Multimodal Approach to Detect Osseous Involvement in Meningioma.	Additional Value of (18)F-Fluoride PET/CT for Conventional Imaging Radiology, 273: 521-528, 2014.
230	Wakimoto H	脳神経外科学	Targetable signaling pathway mutations are associated with malignant phenotype in IDH-mutant gliomas, Clinical cancer research .	an official journal of the American Association for Cancer Research 20:2898-2909, 2014.
231	Mihara T	麻醉科学	The efficacy of lidocaine to prevent laryngospasm in children: a systematic review and meta-analysis.	Anaesthesia, 69: 1388-1396, 2014.
232	Uchimoto K	麻醉科学	Isoflurane impairs learning and hippocampal long-term potentiation via the saturation of synaptic plasticity.	Anesthesiology, 121:301-310, 2014.
233	Koga M	麻醉科学	Role of VPAC2 receptor in monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats.	J Appl Physiol, 117:383-391, 2014.
234	Miyashita T	麻醉科学	FaceTime for teaching ultrasound-guided anesthetic procedures in remote place.	J Clin Monit Comput, 28:211-215, 2014.

235	Goshima Y	麻醉科学	Cardiovascular actions of DOPA mediated by the gene product of ocular albinism 1.	J Pharmacol Sci, 126:14-20, 2014.
236	Sun L	麻醉科学	Direct measurement of a patient's entrance skin dose during pediatric cardiac catheterization.	J Radiat Res, 26: 1122-1130, 2014.
237	Masukawa D	麻醉科学	Localization of ocular albinism-1 gene product GPR143 in the rat central nervous system.	Neurosci Res, 88: 49-57, 2014.
238	Takaki S	麻醉科学	Modified rapid shallow breathing index adjusted with anthropometric parameters increases predictive power for extubation failure compared with the unmodified index in postcardiac surgery patients.	J Cardiothorac Vasc Anesth.29:64-68,2015
239	Miyashita T	麻醉科学	A pilot study of tele-anaesthesia by virtual private network between an island hospital and a mainland hospital in Japan.	J Telemed Telecare.21:73-79,2015
240	Taguchi T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Phase II Study of Concurrent Chemoradiotherapy with S-1 in Patients with Stage II (T2N0M0) Squamous Cell Carcinoma of the Pharynx or Larynx.Jpn J Clin Oncol.	2014 Dec;44(12):1158-63
241	Taguchi T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Treatment results and prognostic factors for advanced squamous cell carcinoma of the hypopharynx treated with concurrent chemoradiotherapy.	Cancer Chemother Pharmacol. 2014 Jun;73(6):1147-54.
242	Shiono O	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Differential expression of periostin in the nasal polyp may represent distinct histological features of chronic rhinosinusitis.	Auris Nasus Larynx. 2014 Sep 27. [Epub ahead of print]
243	Komatsu M	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Concurrent chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil (TPF) in patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Jpn J Clin Oncol. 2014 May;44(5):416-21
244	Yabuki K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Predictive and Prognostic Value of Metabolic Tumor Volume(MTV) in Patients with Laryngeal Carcinoma Treated by Radiotherapy (CCRT).	PLoS One.2015 Feb 18;10(2):e0117924.
245	Hata M	皮膚科学	Radiation therapy for angiosarcoma of the scalp: treatment outcomes of total scalp irradiation with X-rays and electrons.	Strahlenther Onkol. 190(10):899-904, 2014.
246	Hata M	皮膚科学	Radiation therapy for lymph node metastasis from extramammary Paget's disease.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 28(7):873-877, 2014.
247	Mizuno T	皮膚科学	A case of ecthyma during therapy with an epidermal growth factor receptor inhibitor.	Eur J Dermatol, 24:511-512, 2014.

248	Inomata N	皮膚科学	Anaphylaxis caused by ingesting jellyfish in a subject with fermented soybean allergy: Possibility of epicutaneous sensitization to poly- $\gamma$ -glutamic acid by jellyfish stings.	J Dermatol, 41:752-774, 2014.
249	Fujita H	皮膚科学	The serum level of HMGB1 is preferentially high in DISH/DRESS.	Br J Dermatol, 171(6):1585-1588, 2014.
250	Fujita H	皮膚科学	Pazopanib-induced leg ulcer in a patient with malignant fibrous histiocytoma.	J Dermatol, 41:1022-1023, 2014.
251	Inoue Y	皮膚科学	Effects of Oral Administration of Lactobacillus acidophilus L-92 on the Symptoms and Serum Cytokines of Atopic Dermatitis in Japanese adults: a double-blind, randomized, clinical trial.	Int Arch Allergy Immunol, 165(4):247-254, 2014.
252	Kanaoka M	皮膚科学	Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and appearance of anti-BP180 antibodies in the late stage of the disease.	J Dermatol, 41:628-630, 2014.
253	Kou K	皮膚科学	Morbihan disease and extrafacial lupus miliaris disseminatus faciei.	Ann Saudi Med, 34(4):351-353, 2014.
254	Kou K	皮膚科学	Periostin levels correlate disease severity and chronicity in patients with atopic dermatitis.	Br J Dermatol, 171:283-291, 2014.
255	Umemura M	皮膚科学	Store-operated Ca <sup>2+</sup> entry (SOCE) regulates melanoma proliferation and cell migration.	PLoS One, 21;9(2):e89292, 2014.
256	Sato I	皮膚科学	Hyperthermia generated with ferucarbotran (Resovist®) in an alternating magnetic field enhances cisplatin-induced apoptosis of cultured human oral cancer cells.	J Physiol Sci, 64(3):177-83, 2014.
257	Watanabe T	皮膚科学	Pustulosis palmaris et plantaris successfully treated with leukotriene antagonist.	Eur J Dermatol, 24(6):695-696, 2014.
258	Inomata N	皮膚科学	Food allergy preceded by contact urticarial due to the same food: involvement of epicutaneous sensitization in food allergy.	Allergol Int, 64:73-78, 2015.
259	Sugawara M	皮膚科学	Exploration of a standard treatment for Buruli ulcer through a comprehensive analysis of all cases diagnosed in Japan,	J Dermatol, 42:588-595, 2015.
260	Aoki J	免疫・血液・呼吸器内科学	Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for acute myeloid leukemia patients with central nervous system involvement.	Biol Blood Marrow Transplant, 20(12):2029-2033, 2014.

261	Aoki T	免疫・血液・呼吸器内科学	Prognostic significance of pleural or pericardial effusion and the implication of optimal treatment in primary mediastinal large B-cell lymphoma: a multicenter retrospective study in Japan.	Haematologica, 99(12): 1817-1825, 2014.
262	Aoki J	免疫・血液・呼吸器内科学	Efficacy and tolerability of Entecavir for hepatitis B virus infection after hematopoietic stem cell transplantation.	Springerplus, 3: 450, 2014.
263	Aoki J	免疫・血液・呼吸器内科学	Posttransplantation bone marrow assessment by quantifying hematopoietic cell-derived mRNAs in plasma exosomes/microvesicles.	Clin Chem, 60(4):675-682, 2014.
264	Aoki J	免疫・血液・呼吸器内科学	The predictive value for pulmonary infection by area over the neutrophil curve (D-index) in patients who underwent reduced intensity hematopoietic stem cell transplantation.	Pathol Oncol Res, 20(4): 879-883, 2014.
265	Bhattacharya M	免疫・血液・呼吸器内科学	IQGAP1-dependent scaffold suppresses RhoA and inhibits airway smooth muscle contraction.	J Clin Invest 124: 4895-4898, 2014.
266	Chiba Y	免疫・血液・呼吸器内科学	Lymphopenia Helps Early Diagnosis of Systemic Lupus Erythematosus for Patients With Psychosis as an Initial Symptom.	Psychosomatics, 56(1): 85-88, 2014.
267	Chihara D	免疫・血液・呼吸器内科学	High-Dose Chemotherapy with Autologous Stem Cell Transplantation for Elderly Patients with Relapsed/Refractory Diffuse Large B Cell Lymphoma: A Nationwide Retrospective Study.	Biol Blood Marrow Transplant, 20(5): 684-689, 2014.
268	Cho SJ	免疫・血液・呼吸器内科学	Biomarkers of protection from upper and lower airway injury after World Trade Center exposure.	Respir Med. 108:162-170, 2014
269	Cho SJ	免疫・血液・呼吸器内科学	YKL-40 is a Protective Biomarker for Fatty Liver in World Trade Center Particulate Matter-Exposed Firefighters.	J Mol Biomark Diagn 5 pii: 1000174, 2014
270	Fujisawa S	免疫・血液・呼吸器内科学	Efficacy and safety of dasatinib versus imatinib in Japanese patients with newly diagnosed chronic-phase chronic myeloid leukemia (CML-CP): Subset analysis of the DASISION trial with 2-year follow-up.	Int J Hematol, 99(2): 141-153, 2014.
271	Furukawa H	免疫・血液・呼吸器内科学	HLA-DRB1*08:02 is associated with Bucillamine-induced proteinuria in Japanese rheumatoid arthritis patients.	Biomarker Insights, 9:23-28, 2014.
272	Furukawa H	免疫・血液・呼吸器内科学	Human leukocyte antigens and systemic lupus erythematosus: a Protective role for the HLA-DR6 alleles DRB1*13:02 and *14:03.	PLOS ONE, 9(2):e87792, 2014.
273	Hata M	免疫・血液・呼吸器内科学	Severe retinopathy following radiation therapy with a moderate dose for orbital mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Hematol Oncol, 32(4): 212-214, 2014.



274	Hayakawa F	免疫・血液・呼吸器内科学	Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG): Markedly improved outcomes and acceptable toxicity in adolescents and young adults with acute lymphoblastic leukemia following treatment with a pediatric protocol: a phase II study by the Japan Adult Leukemia Study Group.	Blood Cancer Journal, 4: e252, 2014.
275	Hirohata S	免疫・血液・呼吸器内科学	Analysis of various factors on the relapse of acute neurological attacks in Behçet's disease.	Mod Rheumatol, 24(6):961-965, 2014.
276	Hisamatsu T	免疫・血液・呼吸器内科学	The 2nd edition of consensus statements for the diagnosis and management of intestinal Behçet's disease: indication of anti-TNF $\alpha$ monoclonal antibodies.	J Gastroenterol, 49:156-162, 2014.
277	Wang H	免疫・血液・呼吸器内科学	A reporter mouse reveals lineage-specific and heterogeneous expression of IRF8 during lymphoid and myeloid cell differentiation.	J Immunol. 193(4): 1766-1777, 2014.
278	Horita N	免疫・血液・呼吸器内科学	Small, moderate, and large changes, and the minimum clinically important difference in the University of California, San Diego shortness of breath questionnaire.	COPD 11: 26-32, 2014.
279	Horita N	免疫・血液・呼吸器内科学	Evidence suggesting that oral corticosteroids increase mortality in stable chronic obstructive pulmonary disease.	Respir Res 15: 37, 2014.
280	Horita N	免疫・血液・呼吸器内科学	Statins reduce all-cause mortality in chronic obstructive pulmonary disease: a systematic review and meta-analysis of observational studies.	Respir Res 15: 80, 2014.
281	Ideguchi H	免疫・血液・呼吸器内科学	Gastrointestinal manifestations of Behçet's disease in Japan: a study of 43 patients.	Rheumatol Int, 34:851-856, 2014.
282	Inokuchi K	免疫・血液・呼吸器内科学	Efficacy of Molecular Response at 1 or 3 Months after the Initiation of Dasatinib Treatment Can Predict an Improved Response to Dasatinib in Imatinib-Resistant or Imatinib-Intolerant Japanese Patients with Chronic Myelogenous Leukemia during the Chronic Phase.	J Clin Exp Hematop, 54(3): 197-204, 2014.
283	Ishii Y	免疫・血液・呼吸器内科学	The rate of reduction in the maximum standardized uptake value from the initial to the post-R-CHOP therapy in positron emission tomography scan predicts disease progression in diffuse large B cell lymphoma patients.	Med Oncol, 31(3): 880, 2014.
284	Kanda J	免疫・血液・呼吸器内科学	Decision analysis for donor selection in stem cell transplantation - HLA-8/8 allele-matched unrelated donor vs. HLA-1 AG mismatched related donor.	Blood Cancer J, 4:e263-271, 2014.

285	Kawasaki A	免疫・血液・呼吸器内科学	Association of functional polymorphisms in interferon regulatory factor 2 (IRF2) with susceptibility to systemic lupus erythematosus: A case-control association study.	PLOS ONE, 9(10), e109764, 2014.
286	Kihara R	免疫・血液・呼吸器内科学	Comprehensive analysis of genetic alterations and their prognostic impacts in adult acute myeloid leukemia patients.	Leukemia, 28(8): 1586-1595, 2014.
287	Konuma T	免疫・血液・呼吸器内科学	Granulocyte colony-stimulating factor combined regimen in cord blood transplantation for acute myeloid leukemia: a nationwide retrospective analysis in Japan.	Haematologica, 99(12): e264-268, 2014.
288	Kumagai T	免疫・血液・呼吸器内科学	Relative increase in lymphocytes from as early as 1 month predicts improved response to dasatinib in chronic-phase chronic myelogenous leukemia.	Int J Hematol, 99(1): 41-52, 2014.
289	Lennikov A	免疫・血液・呼吸器内科学	Single center study on ethnic and clinical features of Behcet's disease in Moscow, Russia.	Clin Rheumatol, 34(2): 321-327, 2014.
290	Martin BN	免疫・血液・呼吸器内科学	IKK $\alpha$ negatively regulates ASC-dependent inflammasome activation.	Nat Commun, 5: 4977, 2014.
291	Matsumoto K	免疫・血液・呼吸器内科学	Prognostic index for relapsed acute leukemia after allogeneic stem cell transplant.	Leuk Lymphoma, 55(12): 2808-2812, 2014.
292	Matsumoto K	免疫・血液・呼吸器内科学	Impact of pretransplant serum ferritin on the outcome in adult patients receiving cord blood transplantation for acute leukemia.	Leuk Lymphoma, 55(2): 460-461, 2014.
293	Matsumoto K	免疫・血液・呼吸器内科学	Disseminated Cunninghamella bertholletiae infection with septic pulmonary embolism after allogeneic bone marrow transplantation.	Transpl Infect Dis, 16(2): 304-306, 2014.
294	Miyagi R	免疫・血液・呼吸器内科学	Development of pulmonary and cardiac sarcoidosis during etanercept therapy.	Int J Rheum Dis, 17(7):810-812, 2014
295	Miyagi R	免疫・血液・呼吸器内科学	Interstitial pneumonia as an initial manifestation in a patient with late-onset SLE.	Int J Rheum Dis. 17(7):813-816, 2014
296	Miyazaki T	免疫・血液・呼吸器内科学	The 3'-5' DNA exonuclease TREX1 directly interacts with poly (ADP-ribose) polymerase-1 (PARP1) during the DNA damage response.	The Journal of Biological Chemistry, 289(47): 32548-32558, 2014.
297	Mizuta S	免疫・血液・呼吸器内科学	Pre-transplant administration of imatinib for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients with BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia.	Blood, 123(15): 2325-2332, 2014.

298	Nagano J	免疫・血液・呼吸器内科学	Rational/antiemotional behaviors in inyerpersonal relationships and the functional prognosis of patients with rheumatoid arthritis: a Japanese multicenter, longitudinal study.	Biopsychosocial Medicine, 8:8-15, 2014.
299	Nakajima Y	免疫・血液・呼吸器内科学	Prognostic significance of serum beta-2 microglobulin level in Hodgkin lymphoma treated with ABVD-based therapy.	Med Oncol, 31(9): 185, 2014.
300	Nakaya A	免疫・血液・呼吸器内科学	Does the hematopoietic cell transplantation specific comorbidity index (HCT-CI) predict transplant outcomes? : A prospective multicenter validation study of the Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT).	Biol Blood Marrow Transplant, 20(10): 1553-1559, 2014.
301	Nam JL	免疫・血液・呼吸器内科学	Efficacy of biological disease-modifying antirheumatic drugs: a systematic literature review informing the 2013 update of the EULAR recommendations for the management of rheumatoid arthritis.	Ann Rheum Dis. 73(3): 516-528, 2014.
302	Numata A	免疫・血液・呼吸器内科学	Validation of the European Group for Blood and Marrow Transplantation (EBMT) risk score in patients receiving allogeneic hematopoietic stem cell transplantation at a single center in Japan.	Clin Transplant, 28(4):403-409, 2014.
303	Oka S	免疫・血液・呼吸器内科学	Protective effect of the HLA-DRB1*13:02 allele in Japanese rheumatoid arthritis patients.	PLoS One. 9(6): e99453, 2014.
304	Shinagawa K	免疫・血液・呼吸器内科学	Tamibarotene as maintenance therapy for acute promyelocytic leukemia: results from a randomized controlled trial.	J Clin Oncol, 32(33): 3729-3735, 2014.
305	Shigemori S	免疫・血液・呼吸器内科学	Generation of Dipeptidyl Peptidase-IV-Inhibiting Peptides from $\beta$ -Lactoglobulin Secreted by Lactococcus lactis.	Biomed Res Int 2014: 393598, 2014.
306	Tachibana T	免疫・血液・呼吸器内科学	Clinical significance of pre- and 1 year post- transplant serum ferritin among adult transplant recipients.	Leuk Lymphoma, 55(6): 1350-1356, 2014.
307	Tachibana T	免疫・血液・呼吸器内科学	Multicenter validation of scoring system of pre-transplant serum ferritin and disease risk in patients with acute myeloid leukemia and myelodysplastic syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplant.	Leuk Lymphoma, 54(6): 1318-1320, 2014.
308	Takami A	免疫・血液・呼吸器内科学	Donor lymphocyte infusion for the treatment of relapsed acute myeloid leukemia after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A retrospective analysis by the Adult AML Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant, 20(11): 1785-1790, 2014.

309	Takase K	免疫・血液・呼吸器内科学	What is the utility of routine ANA testing in predicting development of biological DMARD-induced lupus and vasculitis in patients with rheumatoid arthritis? Data from a single-centre cohort.	Ann Rheum Dis. 73(9):1695-1699, 2014.
310	Tsukiji J	免疫・血液・呼吸器内科学	Lysophosphatidic acid and apolipoprotein A1 predict increased risk of developing World Trade Center-lung injury: a nested case-control study.	Biomarkers. 19:159-165, 2014
311	Watanabe R	免疫・血液・呼吸器内科学	Peripheral blood absolute lymphocyte/monocyte ratio as a useful prognostic factor in diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	Eur J Haematol, 92(3): 204-210, 2014.
312	Yamamoto E	免疫・血液・呼吸器内科学	European Treatment and Outcome Study score does not predict imatinib treatment response and outcome in chronic myeloid leukemia patients.	Cancer Sci, 105(1): 105-109, 2014.
313	Yamamoto W	免疫・血液・呼吸器内科学	Human herpesvirus-6 encephalopathy after hematopoietic stem cell transplantation and class I human leukocyte antigen.	Clin Transplant, 28(5): 540-545, 2014.
314	Yamamoto W	免疫・血液・呼吸器内科学	Lymphocyte recovery on day 100 after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation predicts non-relapse mortality in patients with acute leukemia or myelodysplastic syndrome.	Leuk Lymphoma, 55(5): 1113-1118, 2014.
315	Yamamoto W	免疫・血液・呼吸器内科学	Predictive value of risk assessment scores in patients with hematologic malignancies undergoing reduced-intensity conditioning allogeneic stem cell transplantation.	Am J Hematol, 89(9): E138-141, 2014.
316	Yamamoto W	免疫・血液・呼吸器内科学	HLA-DR expression on flow cytometry and tumor-associated macrophages in diffuse large B cell lymphoma treated by R-CHOP therapy: Retrospective cohort study.	Leuk Lymphoma, 55(12): 2721-2727, 2014.
317	Yamazaki E	免疫・血液・呼吸器内科学	Serum ferritin level is prognostic of patient outcome in extranodal NK/T cell lymphoma, nasal type.	Med Oncol, 31(9):149, 2014.
318	Yoshimi R	免疫・血液・呼吸器内科学	Ultrasonography predicts achievement of Boolean remission after DAS28-based clinical remission of rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol, 24: 590-598, 2014.
319	Yamamoto W	免疫・血液・呼吸器内科学	Modified anthracycline-based chemotherapy for elderly patients with diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	横浜医学, 65: 1-6, 2014.
320	Azushima K	血液浄化センター	Effects of Single Pill-based Combination Therapy of Amlodipine and Atorvastatin on Within-visit BP Variability and Parameters of Renal and Vascular Function in Hypertensive Patients with Chronic Kidney Disease.	Bio Med Research International, Article ID 437087, 2014.

321	Fujiwara A	血液浄化センター	Impaired nitric oxide production and increased blood pressure in systemic heterozygous ATP2B1 null mice.	J Hypertens, 32(7):1415-23, 2014.
322	Kakimoto-Shino M	血液浄化センター	Changes in Heparin and Reticulocyte Hemoglobin Equivalent Levels in Response to Continuous Erythropoietin Receptor Activator Administration in Hemodialysis Patients: A Randomized Study.	Therapeutic Apheresis and Dialysis, 18(5): 421-426, 2014.
323	Ohsawa M	血液浄化センター	Deletion of the angiotensin II type 1 receptor-associated protein enhances renal sodium reabsorption and exacerbates angiotensin II-mediated hypertension.	Kidney Int, 86(3):570-581, 2014.
324	Hirota M	口腔外科学	Effect of ultraviolet-mediated photofunctionalization for bone formation around medical titanium mesh.	J Oral Maxillofac Surg, 72:1691-1702, 2014.
325	Hironaka K	口腔外科学	Involvement of glial activation in trigeminal ganglion in a rat model of lower gingival cancer pain.	Nagoya J Med Sci, 76: 323-32, 2014.
326	Iida M	口腔外科学	Increase of peripheral blood CD57+ Y-cells in patients with oral squamous cell carcinoma.	Anticancer Res, 34:5729-5734, 2014.
327	Iwai T	口腔外科学	Variable oral device for measuring oral lesions.	Indian J Otolaryngol Head Neck Surg, 66: 314-315, 2014.
328	Iwai T	口腔外科学	Secure surgical method for catheter placement via the occipital artery to achieve retrograde superselective intra-arterial chemotherapy for advanced oral cancer: Alternative to approach via the superficial temporal artery.	Indian J Otolaryngol Head Neck Surg, 66: 314-315, 2014.
329	Maegawa J	口腔外科学	Malignant melanoma of the lacrymal sac: a case report.	Int J Dermatol, 53:243-245, 2014.
330	Makita C	口腔外科学	Clinical outcomes and toxicity of proton beam therapy for advanced cholangiocarcinoma.	Radiat Oncol, 9: 26, 2014.
331	Mitsudo K	口腔外科学	Retrograde superselective intra-arterial chemotherapy and daily concurrent radiotherapy for stage III and IV oral cancer: Analysis of therapeutic results in 112 cases.	Radiother Oncol, 111:306-310, 2014.
332	Mukai Y	口腔外科学	Radiation therapy with concurrent retrograde superselective intra-arterial chemotherapy for gingival carcinoma.	Strahlenther Onkol, 190:181-185, 2014.

333	Sato I	口腔外科学	Hyperthermia generated with ferucarbotran (Resovist®) in an alternating magnetic field enhances cisplatin-induced apoptosis of cultured human oral cancer cells.	J Physiol Sci, 64:177-183, 2014.
334	Uejima S	口腔外科学	Synchronous bilateral tongue cancer treated with chemoradiotherapy using superselective intra-arterial infusion via bilateral superficial temporal arteries: a case report.	Head Neck Oncol, 6(5):42, 2014.
335	Walters MJ	口腔外科学	Inhibition of CXCR7 extends survival following irradiation of brain tumours in mice and rats.	Br J Cancer, 110:1179-1188, 2014.
336	Makoto Hirota	口腔外科学	High porous titanium scaffolds showed higher compatibility than lower porous beta-tricalcium phosphate scaffolds for regulating human osteoblast and osteoclast differentiation.	Science and Engineering C 49(2015)623-631, 2015.
337	Kaneko T	消化器内科学	Efficacy of plastic stent placement inside bile ducts for the treatment of unresectable malignant hilar obstruction (with videos).	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 21:349-55, 2014.
338	Fukuda H	消化器内科学	Hepatocellular carcinoma: concomitant sorafenib promotes necrosis after radiofrequency ablation-propensity score matching analysis.	Radiology, 272:598-604, 2014.
339	Miwa H	消化器内科学	Differential diagnosis of solid pancreatic lesions using contrast-enhanced three-dimensional ultrasonography.	Abdom Imaging, 39:988-99, 2014.
340	Endo H	消化器内科学	Risk factors for small-bowel mucosal breaks in chronic low-dose aspirin users: data from a prospective multicenter capsule endoscopy registry.	Gastrointest Endosc, 80:826-34, 2014.
341	Sasaki T	消化器内科学	Doppler ultrasound findings correlate with tissue vascularity and inflammation in surgical pathology specimens from patients with small intestinal Crohn's disease.	BMC Res Notes, 7:363, 2014.
342	Higurashi T	消化器内科学	Conditional knockout of the leptin receptor in the colonic epithelium revealed the local effects of leptin receptor signaling in the progression of colonic tumors in mice.	Carcinogenesis, 35: 2134-41, 2014.
343	Takahata M	消化器内科学	Comparison of intragastric balloon therapy and intensive lifestyle modification therapy with respect to weight reduction and abdominal fat distribution in super-obese Japanese patients.	Obes Res Clin Pract, 8:e331-8, 2014.
344	Ichikawa Y	消化器内科学	Colorectal laterally spreading tumors show characteristic expression of cell polarity factors, including atypical protein kinase C $\lambda / \iota$ , E-cadherin, $\beta$ -catenin and basement membrane component.	Oncol Lett, 8:977-984, 2014.
345	Yamada E	消化器内科学	Association Between the Location of Diverticular Disease and the Irritable Bowel Syndrome: A Multicenter Study in Japan.	Am J Gastroenterol, 109: 1900-1905, 2014.

346	Kikkawa N	消化器内科学	Comparative study of the QUEST questionnaire and GerdQ questionnaire for Japanese students.	Hepatogastroenterology,61:1605-10,2014.
347	Inamori M	消化器内科学	Protective effect of lactoferrin on acute acid reflux-induced esophageal mucosal damage.	Hepatogastroenterology,61:1595-600,2014.
348	Kobayashi N	消化器内科学	Endoscopic treatment of postoperative benign bile duct stricture compared with malignant bile duct stricture.	Hepatogastroenterology,61:1507-18,2014.
349	Kusakabe A	消化器内科学	Effects of ramosetron oral disintegrating tablets on gastric emptying: crossover study using the 13C-acetic acid breath test.	Hepatogastroenterology,61:1279-82,2014.
350	Ida T	消化器内科学	Endoscopic removal of a migrated stent in the gallbladder.	Endoscopy,46 Suppl 1:E539-40,2014.(症例報告)
351	Kirikoshi H	消化器内科学	Combined 5-fluorouracil and pegylated interferon $\alpha$ -2b therapy for advanced hepatocellular carcinoma.	Hepatogastroenterology, in press.
352	Nonaka T	消化器内科学	Correlation between gastric transit time measured by video capsule endoscopy and gastric emptying determined by the continuous real-time 13C breath test (BreathID system).	Hepatogastroenterology. 61(135):2159-62, 2014.
353	Matsuura M	消化器内科学	Lubiprostone decreases the small bowel transit time by capsule endoscopy: an exploratory, randomised, double-blind, placebo-controlled 3-way crossover study.	Gastroenterol Res Pract.;2014:879595, 2014.]
354	Kawakami A	消化器内科学	A screening instrument to identify ulcerative colitis patients with the high possibility of current non-adherence to aminosalicylate medication based on the Health Belief Model: a cross-sectional study.	BMC Gastroenterol, 19;14(1):220, 2014 .
355	Suzuki K	消化器内科学	A metastatic melanoma of the small intestine diagnosed by single-balloon enteroscopy.	Turk J Gastroenterol. 25 Suppl 1:S262-3, 2014. (症例報告)
356	Oshima T	消化器内科学	Relation of INHBA Gene Expression to Outcomes in Gastric Cancer after Curative Surgery.	Anticancer Res, 34(5):2303-2309, 2014.
357	Fukuda H	消化器内科学	Hepatocellular carcinoma: concomitant sorafenib promotes necrosis after radiofrequency ablation--propensity score matching analysis.	Radiology. ;272(2):598-604, 2014.

358	Kondo M	消化器内科学	Hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin and sorafenib in hepatocellular carcinoma patients with prior transarterial chemoembolization: a propensity score-based weighting.	J Dig Dis 2014 Dec 15. [Epub ahead of print]
359	Kondo M	消化器内科学	Hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin and sorafenib in hepatocellular carcinoma patients unresponsive to transarterial chemoembolization:a propensity score-based weighting.	J Dig Dis,16(3):143-51,2015
360	Aoki K	内分泌・糖尿病内科学	Effects of miglitol, vildagliptin, or their combination on serum insulin and peptide YY levels and plasma glucose, cholecystokinin, ghrelin, and obestatin levels.	Endocr J, 61(3): 249-256, 2014.
361	Goto A	内分泌・糖尿病内科学	Age, Body Mass, Usage of Exogenous Estrogen, and Lifestyle Factors in Relation to Circulating Sex Hormone-Binding Globulin Concentrations in Postmenopausal Women.	Clin Chem, 60(1): 174-85, 2014.
362	Hidaka A	内分泌・糖尿病内科学	Plasma insulin, C-peptide, and blood glucose and the risk of gastric cancer.	The Japan Public Health Center-based prospective study, Int J Cancer, doi: 10.1002/ijc. 29098. [Epub ahead of print], 2014.
363	Imai K	内分泌・糖尿病内科学	Prediction of response to GLP-1 receptor agonist therapy in Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetol Metab Syndr, 6(1):110, 2014.
364	Inoue K	内分泌・糖尿病内科学	A newer conversion equation for the correlation between HbA1c and glycated albumin.	Endocr J, 61(6): 553-60, 2014.
365	Kabeya Y	内分泌・糖尿病内科学	Descriptive epidemiology of diabetes prevalence and HbA1c distributions based on a self-administered questionnaire and a health checkup in the JPHC Diabetes study.	J Epidemiol, 24(6):460-8, 2014.
366	Kadowaki T	内分泌・糖尿病内科学	Empagliflozin Monotherapy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus.	a Randomized, 12-Week, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase II Trial. Adv Ther. 31(6): 621-38, 2014.
367	Kaku K	内分泌・糖尿病内科学	Efficacy and safety of monotherapy with the novel sodium/glucose cotransporter-2 inhibitor tofogliflozin in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a combined Phase 2 and 3 randomized, placebo-controlled, double-blind, parallel-group comparative study.	Cardiovasc Diabetol, 13(1): 65, 2014.
368	Kamiyama H	内分泌・糖尿病内科学	Effect of repaglinide therapy administered twice or thrice daily for 3 months on glycemic control in Japanese patients with type 2 diabetes.	J Int Med Res, 42(5):1150-60, 2014.



369	Kawata T	内分泌・糖尿病内科学	Is a switch from insulin therapy to liraglutide possible in Japanese type 2 diabetes mellitus patients?	J Clin Med Res, 6(2): 138-44, 2014.
370	Kondo Y	内分泌・糖尿病内科学	Second-line treatments in dyslipidemic patients at risk of cardiovascular disease.	Endocr J, 61(4): 343-51, 2014.
371	Kurotani K	内分泌・糖尿病内科学	Cholesterol and egg intake and the risk of type 2 diabetes.	The Japan Public Health Center-based Prospective Study, Br J Nutr, 112(10):1636-43, 2014.
372	Miyazaki Y	内分泌・糖尿病内科学	Zyxin modulates the transmigration of Haemophilus influenzae to the central nervous system.	Virulence, 5(6): 665-72, 2014.
373	Sato K	内分泌・糖尿病内科学	Evidence of brain atrophy detected on magnetic resonance imaging is associated with failure of acquisition of the ability for insulin self-injection.	Endocr J, 61(11): 1125-1130, 2014.
374	Shigematsu E	内分泌・糖尿病内科学	Effect of sitagliptin on lipid profile in patients with type 2 diabetes mellitus.	J Clin Med Res, 6(5): 327-35, 2014.
375	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Selective and sequential loss of transcriptional factors: a hallmark of $\beta$ cell failure in type 2 diabetes?	J Diabetes Invest, 5(4):359-61, 2014.
376	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Effects of the antitumor drug OSI-906, a dual inhibitor of IGF-1 receptor and insulin receptor, on the glycemic control, $\beta$ cell functions, and $\beta$ cell proliferation in male mice.	Endocrinology, 155(6):2102-1120, 2014.
377	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Using miglitol at 30 min before meal is effective in hyperinsulinemic hypoglycemia after a total gastrectomy.	Endocr J, 61(11): 1115-23, 2014.
378	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Selective and sequential loss of transcriptional factors: a hallmark of $\beta$ cell failure in type 2 diabetes?	J Diabetes Invest, 5(4): 359-61, 2014.
379	Takai M	内分泌・糖尿病内科学	Safety and efficacy of adding sitagliptin to insulin in patients with type 2 diabetes: The ASSIST-K study.	Diabetes Res Clin Pract, 103(3): e30-3, 2014.
380	Takahata M	内分泌・糖尿病内科学	Comparison of intragastric balloon therapy and intensive lifestyle modification therapy with respect to weight reduction and abdominal fat distribution in super-obese Japanese patients.	Obes Res Clin Pract, 8(4):e331-338, 2014

381	Tanizawa Y	内分泌・糖尿病内科学	Long-term safety and efficacy of tofogliflozin, a selective inhibitor of sodium-glucose cotransporter 2, as monotherapy or in combination with other oral antidiabetic agents in Japanese	Expert Opin Pharmacother, 15(6): 749-66, 2014.
382	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Monotherapy with the once weekly GLP-1 receptor agonist dulaglutide for 12 weeks in Japanese patients with type 2 diabetes: dose-dependent effects on glycaemic control in a randomised, double-blind, placebo-controlled study.	Endocr. J, 61(10):949-59, 2014.
383	Togashi Y	内分泌・糖尿病内科学	$\beta$ cell proliferation after a partial pancreatectomy is independent of IRS-2 in mice.	Endocrinology, 155(5): 1643-52, 2014.
384	Yamakawa T	内分泌・糖尿病内科学	Colestimide improve glycemic control via hepatic glucose production in db/db mice.	Endocr J, 61(5): 425-36, 2014.
385	Kamiko K	内分泌・糖尿病内科学	Comparison of the administration of teneligliptin every day versus every other day in Japanese patients with type 2 diabetes: A randomized non-inferior test.	J Clin Pharmacol. 55(2): 144-151, 2015
386	Nakamura A	内分泌・糖尿病内科学	Present status of clinical deployment of glucokinase activators.	[Review] J Diabetes Invest, 6: 124-132, 2015.
387	Nozaki Y	内分泌・糖尿病内科学	Deficiency of iNOS-derived NO accelerates lipid accumulation-independent liver fibrosis in non-alcoholic steatohepatitis mouse model.	BMC Gastroenterology, 15(1): 42, 2015.
388	Maeda H	内分泌・糖尿病内科学	Effects of sitagliptin on the serum creatinine in Japanese type 2 diabetes.	Diabetes Res. Clin. Pract., 108(3):e42-5, 2015.
389	Koyano S	神経内科・脳卒中科	Neuropathological staging of spinocerebellar ataxia type 2 by semiquantitative 1C2-positive neuron typing. nuclear translocation of cytoplasmic 1C2 underlies disease progression of spinocerebellar ataxia type 2.	Brain Pathol, 24(6):599-606, 2014.
390	Ueda N	神経内科・脳卒中科	Quantitative analysis of upper-limb ataxia in patients with spinocerebellar degeneration.	J Neurol, 261(7):1381-6, 2014.
391	Doi H	神経内科・脳卒中科	Late-onset spastic ataxia phenotype in a patient with a homozygous DDHD2 mutation.	Sci Rep 4:7132, 2014.
392	Nakae Y	神経内科・脳卒中科	Hemichorea in a thymoma patient without anti-CRMP-5 antibody.	Neurol Sci 35: 629-30, 2014.

393	Miyaji Y	神経内科・脳卒中科	Arterial spin-labeling magnetic resonance imaging for diagnosis of late seizure after stroke.	J Neurol Sci, 339 (1-2): 87-90, 2014.
394	Miyaji Y	神経内科・脳卒中科	High-Resolution Magnetic Resonance Imaging Findings of Basilar Artery Plaque in a Patient with Branch Atheromatous Disease: a case report.	J Med Case Rep, 8 (1): 395, 2014.
395	Miyaji Y	神経内科・脳卒中科	Obstructive hydrocephalus and leptomeningeal dissemination with an unknown primary lesion in a 67-year-old man.	Neuropathology, 34 (6): 596-601, 2014.
396	Ohba C	神経内科・脳卒中科	Early onset epileptic encephalopathy caused by de novo SCN8A mutations.	Epilepsia, 55 (7): 994-1000, 2014.
397	Ohba C	神経内科・脳卒中科	De novo WDR45 mutation in a patient showing clinically Rett syndrome with childhood iron deposition in brain.	J Hum Genet, 59 (5): 292-295, 2014.
398	Fukai R	神経内科・脳卒中科	A de novo 1.4-Mb deletion at 21q22.11 in a boy with developmental delay.	Am J Med Genet A. 164A(4):1021-8, 2014.
399	Kato M	神経内科・脳卒中科	PIGA mutations cause early-onset epileptic encephalopathies and distinctive features.	Neurology, 82 (18): 1587-1596, 2014.
400	Yasuda Y	神経内科・脳卒中科	Duplication of the NPHP1 gene in patients with autism spectrum disorder and normal intellectual ability: a case series.	Ann Gen Psychiatry. 6: 13-22, 2014.
401	Yoshida K	神経内科・脳卒中科	'Cortical cerebellar atrophy' dwindles away in the era of next-generation sequencing.	J Hum Genet 59(10): 589-90, 2014.
402	Takahashi K	神経内科・脳卒中科	Association of cerebrospinal fluid levels of lateral olfactory tract usher substance (LOTUS) with disease activity in multiple sclerosis.	JAMA Neurol. 72(2):176-179, 2015.
403	Takebe T	形成外科学	Transient vascularization of transplanted human adult-derived progenitors promotes self-organizing cartilage.	J Clin Invest. 2014, Oct1;124(10):4325-34. doi:10.1172/JCI76443. Epub 2014, Sep 9.
404	O'Sullivan NA	形成外科学	Adhesion and integration of tissue engineered cartilage to porous polyethylene for composite ear reconstruction.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2014, Sep 6. doi: 10.1002/jbm.b.33269.

405	Kobayashi S	形成外科学	A novel craniofacial osteogenesis distraction system enabling control of distraction distance and vector for the treatment of syndromic craniosynostosis.	Craniofacial Osteobiology & Distraction. Transaction Congress on Craniofacial Osteobiology & Distraction. 2014,,55-60.
406	Mizuno M	形成外科学	Elastic cartilage reconstruction by transplantation of cultured hyaline cartilage-derived chondrocytes.	Transplant Proc, 2014,,46(4):1217-21. doi: 10.1016/j.transproceed. 2013.
407	Mizuno M	形成外科学	Reconstruction of joint hyaline cartilage by autologous progenitor cells derived from ear elastic cartilage.	Stem Cells, 2014,,32(3):816-21.
408	Kobayashi S	形成外科学	A osteogenesis distraction device to prevent or correct long face by vertical excessive clockwise rotation for syndromic craniosynostosis.	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open 2014, Mar 6;2(2):e113.
409	Kobayashi S	形成外科学	The folded buccal musculomucosal flap for large palatal fistulae in cleft palate.	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open 2014, Mar 6;2(2):e112.
410	Satake T	形成外科学	Breast reconstruction using free posterior medial thigh perforator flaps: intraoperative anatomical study and clinical results.	Plast Reconstr Surg, 134(5), 880-891, 2014,.
411	Sugawara J	形成外科学	Influence of the frequency of laser toning for melasma on occurrence of leukoderma and its early detection by ultraviolet imaging.	Lasers Surg Med. Feb;47(2):161-7. 2015
412	Kokubo K	形成外科学	Trochlea surgery for acquired Brown syndrome.	J AAPOS. 2014, Feb ;18(1):56-60.
413	Morimura N	救急医学	A pilot study of quantitative capillary refill time to identify high blood lactate levels in critically ill patients.	Emerg Med J, 2014.[Epub ahead of print]
414	Sakurai A	救急医学	A retrospective quality assessment of the 7119 call triage system in Tokyo - telephone triage for non-ambulance cases.	J Telemed Telecare, 14;20(5):233-238., 2014.
415	Torimoto I	救急医学	Quantitative analysis of vascular signs on early postmortem multi-detector computed tomography.	Springerplus, 3:169, 2014.
416	Sakamoto T	救急医学	Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation versus conventional cardiopulmonary resuscitation in adults with out-of-hospital cardiac arrest: a prospective observational study.	Resuscitation, 85(6):762-8, 2014.

417	Toida C	救急医学	Effectiveness of an improved medical care system for children in a critical care medical center: is it possible to provide an equivalent level of trauma care for children as we do for adult?	Acute Medicine and Surgery, 1:170-175, 2014.
418	Tsukahara K	救急医学	Current experience and limitations of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for cardiac arrest in children: a single-center retrospective study.	J Intensive Care, 2(1):68, 2014.
419	Hata M	放射線科	Severe retinopathy following radiation therapy with a moderate dose for orbital mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Hematol Oncol, 32(4): 212-214, 2014.
420	Hata M	放射線科	Radiation therapy for angiosarcoma of the scalp: treatment outcomes of total scalp irradiation with X-rays and electrons.	Strahlenther Onkol, 190(10): 899-904, 2014.
421	Hata M	放射線科	Iris metastasis from small-cell lung cancer.	J Thorac Oncol, 9(10): 1584-1585, 2014.
422	Hata M	放射線科	Radiation therapy for lymph node metastasis from extramammary Paget's disease.	J Eur Acad Dermatol Venereol, 28(7): 873-877, 2014.
423	Taguchi T	放射線科	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with S-1 in patients with stage II (T2N0M0) squamous cell carcinoma of the pharynx or larynx.	Jpn J Clin Oncol, 44(12): 1158-1163, 2014.
424	Taguchi T	放射線科	Treatment results and prognostic factors for advanced squamous cell carcinoma of the hypopharynx treated with concurrent chemoradiotherapy.	Cancer Chemother Pharmacol, 73(6): 1147-1154, 2014.
425	Yoneyama T	放射線科	Staging accuracy of pancreatic cancer: comparison between non-contrast-enhanced and contrast-enhanced PET/CT.	Eur J Radiol, 83(10):1734-9, 2014.
426	Hino-Shishikura A	放射線科	Tumor hypoxia and microscopic diffusion capacity in brain tumors: a comparison of (62)Cu-Diacetyl-Bis (N4-Methylthiosemicarbazone) PET/CT and diffusion-weighted MR Imaging.	Eur J Nucl Med Mol Imaging, 41(7):1419-27,2014. Doi: 10.1007/s00259-014-2714-x, 2014.
427	Nakashima M	放射線科	Causative novel PNKP mutations and concomitant PCDH15 mutations in a patient with microcephaly with early-onset seizures and developmental delay syndrome and hearing loss.	J Hum Genet, 59(8):471-4, 2014. Doi: 10.1038/jhg.2014.51, 2014.
428	Hayashi N	放射線科	Ten-year outcomes of I125 low-dose-rate brachytherapy for clinically localized prostate cancer: a single-institution experience in Japan.	World J Urol,2015Jan23. [Epub ahead of print]

429	Akashita S	放射線科	Detection of pure ground-glass nodules in the lung by low-dose multi-detector computed tomography, with use of an iterative reconstruction method: a comparison with conventional image reconstruction by the filtered back-projection method.	Jpn J Radiol,33(3):113-121,2015.
430	Torimoto I	放射線科	Renal perfusional cortex volume for arterial input function measured by semiautomatic segmentation technique using MDCT angiographic data with 0.5-mm collimation.	AJR Am J Roentgenol, 204(1):98-104,2015.
431	Katahira-Suzuki R	放射線科	Definitive chemo-radiotherapy for squamous cell carcinoma of the pharynx: impact of baseline low hemoglobin level (<12 g/dL) and post-radiation therapy F-18 FDG-PET/CT.	Ann Nucl Med,29(1):37-45,2015.
432	Hata M	放射線科	Postoperative radiation therapy for extramammary Paget's disease.	Br J Dermatol,172(4):1014-1020,2015.
433	Yabuki K	放射線科	Predictive and prognostic value of metabolic tumor volume (MTV) in patients with laryngeal carcinoma treated by radiotherapy (RT) / concurrent chemoradiotherapy (CCRT).	PLoS One,10(2),2015.
434	Minamimoto R	放射線科	Detection of breast cancer in an FDG-PET cancer screening program: results of a nationwide Japanese survey.	Clin Breast Cancer,15(2):e139-146,2015.
435	Hirata Y	放射線科	Correlation between mechanical stress by finite element analysis and 18F-fluoride PET uptake in hip osteoarthritis patients.	J Orthop Res,33(1):78-83,2015.
436	Kobayashi N	放射線科	Comparison of 18F-fluoride positron emission tomography and magnetic resonance imaging in evaluating early-stage osteoarthritis of the hip.	Nucl Med Commun,36(1):84-89,2015.

計436件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				

4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	○有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	○有・無
・ 手順書の主な内容 「臨床研究の倫理に関する手順書」として作成しており、臨床研究の実施手順からインフォームドコンセント、申請にあたっての留意事項、委員会への申請方法、研究の実施などといった内容で臨床研究に関する一連の手順を記している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 6 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	○有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	○有・無
・ 規定の主な内容 利益相反委員会の設置、所掌事務、組織、自己申告書の審査について 等 (「公立大学法人横浜市立大学臨床研究利益相反委員会実施要綱」による) ※平成27年度中をめどに、上記要綱を拡充し、「臨床研究に係る利益相反管理手順書」として制定予定となっている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年14回 ※文書による審議を含みます。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容 ・ 研究倫理講演会の年 3 回の開催 研究倫理講演会を開催し、研究倫理申請を行う研究者には年 1 回以上の受講を義務付けている	



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本学の研修プログラムは20を超す多彩なプログラムを有しており、大学病院の専門診療科及び専門別センターで高度で質の高い医療に従事することができる。また、協力病院を始めとした地域医療機関での研修によって、臨床研修に引き続きプライマリ・ケアを含めた幅広い研修も行うことができる。研修期間は3年間であり、専門医取得に向けた大きな一歩となっている。

2 研修の実績

研修医の人数	83人 (H27年3月実績)
--------	----------------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
上田 敦久	リウマチ・血液・感染症内科	准教授	28年	
梅村 敏	腎臓・高血圧内科	教授	40年	
田中 章景	神経内科 脳卒中科	教授	28年	
寺内 康夫	内分泌・糖尿病内科	教授	27年	
前田 慎	消化器内科	教授	22年	
中島 淳	消化器内科 (肝胆膵)	教授	26年	
平安 良雄	精神科	教授	29年	
伊藤 秀一	小児科	教授	23年	
益田 宗孝	心臓血管外科	教授	29年	
遠藤 格	消化器・肝移植外科	教授	30年	
齋藤 知行	整形外科	教授	36年	
相原 道子	皮膚科	教授	34年	
矢尾 正祐	泌尿器科	教授	33年	
平原 史樹	産婦人科	教授	38年	
水木 信久	眼科	教授	26年	
折舘 伸彦	耳鼻咽喉科	教授	27年	
井上 登美夫	放射線科	教授	38年	
藤内 祝	歯科・口腔外科・矯正歯科	教授	38年	
後藤 隆久	麻酔科	教授	28年	
川原 信隆	脳神経外科	教授	33年	
水落 和也	リハビリテーション科	准教授	33年	
前川 二郎	形成外科	教授	29年	
市川 靖史	臨床腫瘍科・乳腺外科	教授	29年	
森村 尚登	救急部	教授	29年	
大橋 健一	病理部	教授	29年	
山崎 悦子	臨床検査部	准教授	24年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画    ○ 2. 現状
管理責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜
管理担当者氏名	医事課長 高橋 正海 / 総務課長 小田 英一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課（サーバー室・事務室） 医事課（病歴室） 薬剤部（処方せん）	◆手術記録・看護記録・検査所見・紹介状・入院要約・入院診療計画書：紙媒体（病歴室管理）→1患者/1カルテファイル/外来/1入院歴、電子媒体（サーバー室管理）→1患者/1カルテレコード ◆エックス線写真：フィルム媒体（病歴室管理）→1患者/1フィルム袋/1外来/1入院、電子媒体（サーバー室管理）→1患者/1検査日時/モダリティ
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の提供の実績	医事課(病歴室)	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	各関係部署	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課(病歴室)	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制	医事課（患者相談窓口）	

		の確保状況		
			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九條の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	集中治療室	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ○ 2. 現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜
閲覧担当者氏名	医事課長 高橋 正海 / 総務課長 小田 英一
閲覧の求めに応じる場所	不定
閲覧の手続の概要 申込用紙（所属・氏名・ID・利用目的等）を提出し、内容を確認後、2週間を目途に貸出を行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	—	件			
閲覧者別	医	師	延	件		
	歯	科	医	師	延	件
	国	延	件			
	地方公共団体	延	件			

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全管理の基本方針</li><li>2. 医療安全管理のための組織体制</li><li>3. 医療安全のための職員研修</li><li>4. 報告および再発防止、レベル3b以上の事象が発生した場合の対応</li><li>5. 患者さん・家族と医療従事者間の情報の共有によるインフォームド・コンセント</li><li>6. 患者相談窓口</li><li>7. その他医療安全の推進</li><li>8. 本基本指針の改正</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年25回
<p>(安全管理対策委員会12回、リスクマネジャー会議13回)</p> <p>・ 活動の主な内容</p> <p>安全管理対策委員会：院内医療安全の方針を協議決定</p> <p>リスクマネジャー会議：安全管理対策委員会の方針周知</p> <p>リスクマネジャーによるグループワーク</p> <p>安全課題検討</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年143回
<p>・ 研修の主な内容：医療安全に関する講演会、TeamSTEPS研修、</p> <p>新採用・転入者職員医療安全研修、人工呼吸器研修、</p> <p>その他医療安全に関する研修</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（○有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. インシデントシステムを用いた院内のインシデント報告の収集を実施</li><li>2. 収集したインシデントの問題点を分析し対応を行う</li><li>3. 職種横断的な対応が必要な案件は複数のリスクマネジャーによる事例の検討を行う</li><li>4. インシデントの件数、事故報告等は医療機能評価機構へ報告し、広く情報共有する</li></ol>	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	○有(3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有(2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任(4)名 兼任(1)名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例対応</li> <li>2. インシデント報告の把握</li> <li>3. 協議：安全管理対策委員会の運営</li> <li>4. 周知：リスクマネージャー会議の運営、広報、院内巡視</li> <li>5. 教育：医療安全講演会、研修会の企画運営</li> </ol> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	○有・無

(様式第6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>2. 職員研修に関する基本方針</li> <li>3. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>4. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>5. 病院感染対策マニュアルに関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年17回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療関連感染防止等についての検討</li> <li>2. 感染症発生状況の把握</li> <li>3. 発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討</li> <li>4. 感染対策マニュアル等の検討</li> <li>5. 環境ラウンド・感染対策推進部会の活動把握</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年48回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手指衛生サーベイランス報告会、エビデンスに基づく感染対策の推進、冬の感染対策、抗菌薬について(全職員)</li> <li>2. 標準予防策 感染実習 感染管理・ミキシング、処置別研修(新人看護師・研修医)</li> <li>3. 感染対策の実際(感染対策推進部会)</li> <li>4. 清掃時の手指衛生と病院清掃のコツ、院内感染防止と自分の身を守るための検体回収・搬送業務について、手指衛生と咳エチケット(清掃業者・事務)</li> <li>5. リハビリテーションの感染対策、放射線部の感染対策、看護助手業務の感染対策、個人防護具の着用方法など(部署)</li> </ol> </li> </ul>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ○有・無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：  
 病棟別菌発生頻度、材料別発生頻度、主要分離菌の検出と推移など臨床検査部から感染症レポートを報告している。院内で感染症が発生した場合、感染制御部に一報を入れる。感染制御部は、ラウンド等で状況把握に努め、助言・指導し、必要に応じて臨時感染対策委員会を開催し対応を検討する。

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「エラー防止に向けた処方オーダーについて」：4/3 112名</li> <li>2. 「新規採用オピイド製剤について」：4/4 89名</li> <li>3. 「薬剤部の役割」：4/9 126名</li> <li>4. 「麻薬の取り扱いについて」：5/22 35名</li> <li>5. 「抗がん剤処方について」：6/5 25名</li> <li>6. 「周術期抗菌薬について」：H27/2/3 54名</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 ( ○有・無 )</li> <li>・ 業務の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手順書の一部改正               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の禁忌・適応外使用に関する規定を追加</li> <li>・ 「人体への使用禁」シール貼付薬剤（薬物）に関する規定を追加</li> <li>・ 調剤業務・充填業務におけるシステム・専用端末を用いた運用を追加修正</li> <li>・ 医薬品情報提供に関して臨床部長会における安全性情報周知を追加</li> </ul> </li> <li>2. 手順書に基づく業務チェックリスト作成と実施</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ○有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）及びアンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害剤の妊婦・胎児への影響について（PMDAからの医薬品適正使用のお願い</li> <li>2. )</li> <li>3. 安全性速報（ブルーレター）：ソブリアード<sup>®</sup>カプセルによる高ビリルビン血症について</li> <li>4. 安全性速報（ブルーレター）：ラミクタール<sup>®</sup>錠による重篤な皮膚障害について</li> <li>5. 腫瘍用薬処方時の体重間違い（医療安全性情報No. 104）</li> <li>6. 「オキシトシン注射液」「ジノプロスト注射液」適正使用のお願い</li> <li>7. 「ヘプセラ<sup>®</sup>錠」適正使用のお願い</li> </ol> </li> </ul>	



(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年84回
<p>・ 研修の主な内容： 特に指定する8品目（①人工心肺装置及び補助循環装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細動装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑦診療用放射線照射装置、⑧麻酔器）の医療機器の安全使用に関する研修を年2回程度定期的に行い、新規導入医療機器は当該医療機器を使用する予定の者に対する研修を行い、実施内容を記録、医療機器安全管理責任者に報告する</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 （ ○有・無 ） ・ 保守点検の主な内容：  特に指定する8品目の医療機器のメーカーによる年間保守点検およびMEセンターによる定期点検の実施。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ○有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容：  1. 厚生省ホームページ及びPMDA、メーカー通知等の情報を関連部署へ通知 2. 必要に対応した研修の実施 3. 簡易取扱説明書の作成及び機器への添付 4. DVDを作成し貸出 5. e-learningによる研修の実施</p>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	○有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver. 6.0にて認定を受ける。（平成24年1月21日）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	○有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報提供、広報誌「With」の発行、エクステンション講座の開講	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンターボードの開催、チームステップス研修の実施、NST・RSTの活動	

(様式第 8)

附 総 第 832 号  
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 公立大学法人横浜市立大学  
理事長 二見 良之 (印)

横浜市立大学病院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 20 第 6 号口及び第 7 号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

### 記

#### 1 提出した年次計画の項目

1 紹介率・逆紹介率 ○ 2 標榜する診療科 3 専門の医師の配置 4 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

#### 2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置)	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由
現在、救急部として運用を行っている部署について、救急科への所属変更や病院情報システムへの新規登録等を実施し、平成 27 年度中に救急科の標榜を行う予定。	平成 27 年 8 月 1 日から、救急科を標榜した。

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第 8 として報告した事項を記載すること。  
2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

#### 3 今後の具体的措置

--

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2 で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。